

—— アクロス福岡 ——  
「匠ギャラリー」

リニューアル計画策定業務報告書

令和3年3月  
福岡県

# 目次

序章	与件の整理	03～09
第1章	各種調査及び課題の抽出	11～22
第2章	基本方針の検討	24～33
第3章	展示及び情報発信の基本方針	35～42
第4章	運営・活動の基本方針	44～47
第5章	設備改修計画	49～50
第6章	整備推進計画	52
別紙	対象工芸品・民芸品 資料	54～57

# 序 章

---

## 与件の整理

---

## 1 計画策定の経緯と目的

アクロス福岡2Fの匠ギャラリーは、本県の伝統的工芸品の振興や次世代への継承を目的とし経済産業大臣指定伝統的工芸品7品目及び県知事指定34品目を常設展示し、週替りで県内の民芸品作家による企画展の開催をおこなっている。共用開始から25年を経て、近年は来場者が10万人を下回るなど減少が顕著なものとなっている。また、社会状況等の変化から設置意義の再検証や、伝統工芸品の販売機能強化や展示テーマや手法の更新が必要となってきたといえる。本業務は匠ギャラリーの現状を把握し施設のまたは潜在的課題を可視化し改装のあり方を検討するものである。検討にあたっては2階の匠ギャラリーの機能を1Fのコミュニケーションエリア(文化・情報発信コーナー)に移転し、2階の空きスペースの活用を前提とする。

## 2 本計画の対象となる工芸品・民芸品

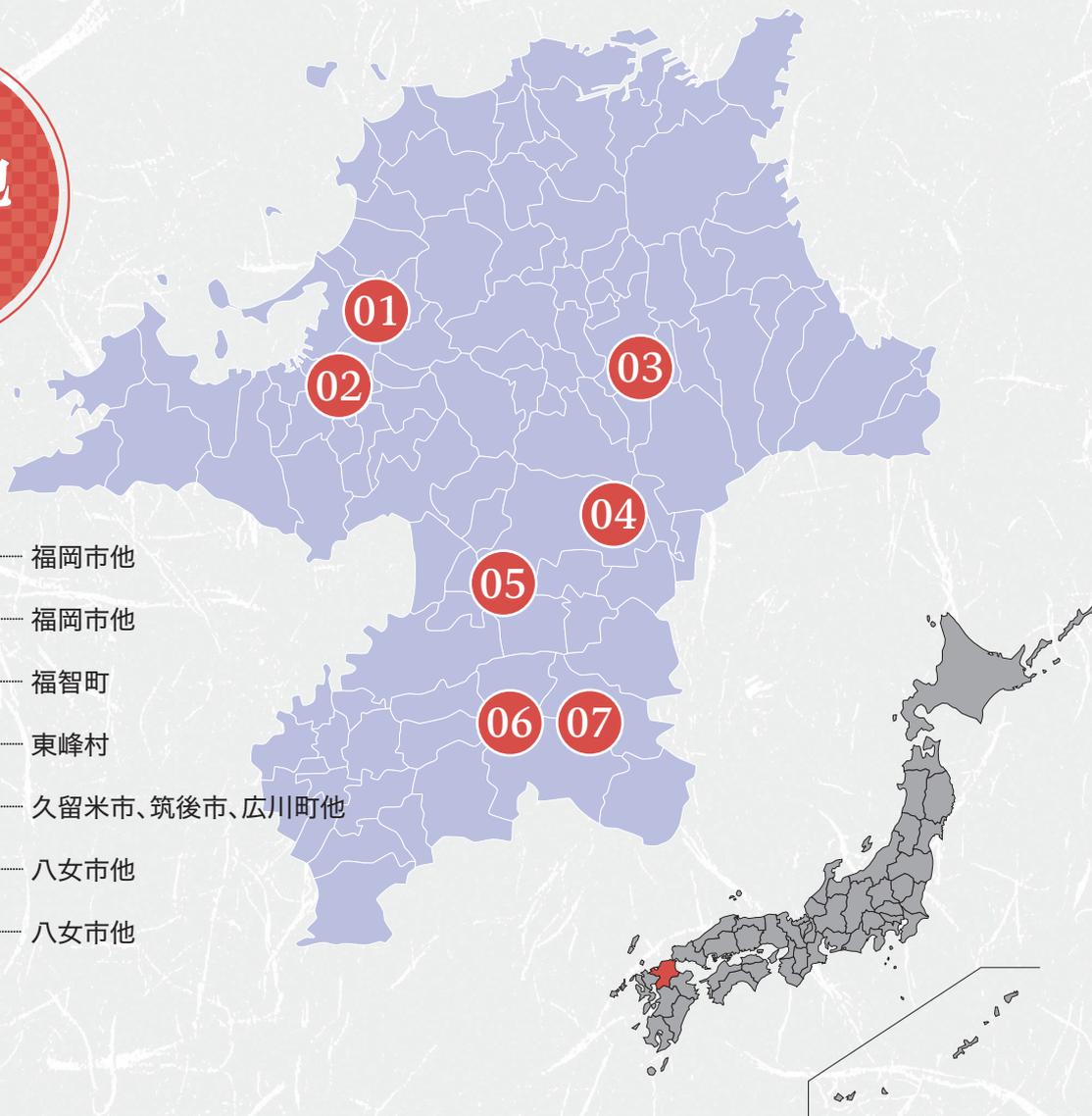
### (1) 経済産業大臣指定伝統的工芸品

この指定は、経済産業大臣によって定められた要件(主として日常生活で使用、主要工程が手作り、百年以上前から続く技術や技法など)を持つ工芸品に与えられる。全国で約230品目にのぼる。

福岡県内では7品目がこの指定を受け、伝統にふさわしい完成度の維持に努めている。

### 7産地の位置

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 01 博多織    | 福岡市他          |
| 02 博多人形   | 福岡市他          |
| 03 上野焼    | 福智町           |
| 04 小石原焼   | 東峰村           |
| 05 久留米餅   | 久留米市、筑後市、広川町他 |
| 06 八女提灯   | 八女市他          |
| 07 八女福島仏壇 | 八女市他          |



## (2) 福岡県知事指定特産民工芸品

この指定は、福岡県で製造される郷土色が豊かで、しかも一定の伝統性を有する(技術・技法が50年以上の歴史があり今日まで継続など)工芸品・民芸品に与えられる。

現在、34品目が指定され、福岡県内のみならず、日本中の人々に愛されている。

### 福岡地域

- 01 博多曲物／福岡市
- 02 博多鋏／福岡市
- 03 津屋崎人形／福津市
- 04 木うそ／太宰府市
- 05 博多張子／福岡市他
- 06 福岡積層工芸ガラス／福津市他
- 07 博多独楽／福岡市他
- 08 博多おきあげ／福岡市
- 09 今宿人形／福岡市

### 北九州地域

- 01 孫次凧／北九州市
- 02 八朔の馬／芦屋町

### 筑豊地域

- 01 英彦山がらがら／添田町

### 筑後地域

- 01 籃胎漆器／久留米市
- 02 きじ車／みやま市
- 03 八女手漉和紙／八女市他
- 04 八女石灯ろう／八女市
- 05 掛川／大木町他
- 06 赤坂人形／筑後市
- 07 鍋島緞通／久留米市他
- 08 柳川神棚／柳川市他
- 09 八女竹細工／八女市他
- 10 筑後和傘／久留米市他
- 11 八女和ごま／八女市
- 12 杷木五月節句幟／朝倉市
- 13 八女矢／八女市ほか
- 14 城島鬼瓦／久留米市
- 15 久留米おきあげ／久留米市
- 16 大川総桐タンス／大川市他
- 17 大川彫刻／大川市
- 18 大川組子／大川市
- 19 柳川まり／柳川市
- 20 棕櫚箒／うきは市
- 21 八女すだれ／八女市、広川町
- 22 天然樟脳／みやま市

### 3 匠ギャラリーの概要

#### (1) 施設概要

場 所：アクロス福岡2F  
 供用開始：平成7年(1995)～  
 時 間：10:00～18:00

休 館 日：年末年始(12/29～1/3)  
 面 積：約170㎡

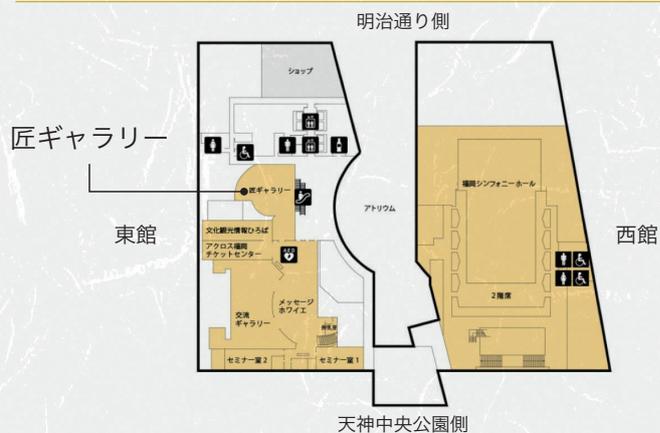
#### ◆ 沿革

平成 7年(1995) アクロス福岡オープン(匠ギャラリー共用開始)

#### ◆ アクロス福岡立地場所



#### ◆ 匠ギャラリー配置図



#### ◆ 現場写真



匠ギャラリー入口



企画展示



常設展示(7産地)



常設展示(34産地)

## (2) 事業概要(令和元年度)

本県の伝統的工芸品の振興や次世代への継承を目的とし、経済産業大臣指定・伝統的工芸品7品目と、県知事指定特産民工芸品34品目を常設展示するとともに、週替りで県内の民工芸品作家による企画展を開催し職人による実演や体験をおこなっている。

### 1 常設展示

経済産業大臣指定伝統的工芸品(八女福島仏壇を除く)について、年3回程度の入替えを行っている。



出典:アクロス福岡ホームページ

### 2 企画展

週毎に企画展を開催している。大きくは経済産業大臣指定伝統的工芸品に関する企画展とその他の一般企画展という形で実施されている。また、企画展によっては作品づくりの体験などの催しを併せて実施するものもある。

#### ア 経済産業大臣指定 伝統的工芸品企画展

博多織5回、博多人形4回、小石原焼3回、上野焼2回、久留米緋2回、  
八女福島仏壇・八女提灯2回 計18回を実施。(令和元年度実績)

#### イ 一般企画展

計30回実施、新型コロナウイルスの影響により4企画展が中止。(令和元年度実績)

#### ウ (公財) アクロス福岡主催 企画展

計3回実施。(令和元年度実績)  
上野焼・小石原焼～花のうつわ展  
女性伝統工芸士展  
博多おきあげと柳川まり展

#### 4 1階コミュニケーションエリアスペースを利用したイベント展開

企画展「八女の伝統的工芸品展」と連動して、インストラクターによる新茶の試飲、お菓子の販売を行う。

#### 5 夏休み子ども企画

7月下旬～8月開催の企画展(5主催者)において主催者と連携して、子ども手づくり体験を実施している。

- 陶芸手びねり・絵付け体験(ブローチの絵付け、ガラス万華鏡制作、ステンドグラス制作)
- 博多織を使った体験(折り鶴キーホルダー作り、折りバラ作り)
- 博多人形の絵付け体験(人形の絵付け)
- 染め体験(ハンカチの絞り染め)
- ガラスを使った体験(ジェルキャンドル作り)



出典:匠ギャラリー令和元年度事業実績

#### 6 ホームページシステムの活用

(公財)アクロス福岡ホームページより申し込みフォームを作成し、来場者の利便性を向上する。

- 匠ギャラリー企画展(一般)の申し込み
- 匠ギャラリー社会科見学申し込み
- 匠ギャラリーのアンケート

## 7 広報

情報誌を使った広報、チラシ・ポスターの制作・配布に加えインターネットやSNSなどの各種媒体を活用した広報を展開している。

## ア 情報誌・チラシを活用した広報

- 匠ギャラリー企画展を月一でピックアップし、ライターによる取材記事を掲載する。
- 匠ギャラリー企画展を掲載した情報誌とチラシを配布する。

## イ インターネットを活用した広報

- 国指定7産地と県指定34品目の伝統工芸品を画像とともに紹介する。
- FacebookやInstagramで企画展を紹介する。
- (公財)アクロス福岡HP内に匠ギャラリー企画展を掲載し、常設展示品入替えの際は作品を画像つきで紹介する。
- (公財)アクロス福岡HP内イベントポータルサイト「アクロスおでかけナビ」で企画展を紹介。
- メールマガジンで企画展を紹介する。

## ウ メディアを活用した広報

- 定例記者発表で匠ギャラリー企画展の情報を提供する。
- 新聞社・Web新聞、TV局、ラジオ局、フリーペーパーに企画展の情報配信を行う。
- 福岡市に企画展の情報を提供する。

## エ 外国人に向けた広報

- 匠ギャラリーの英語チラシを作成し配布する。
- (公財)アクロス福岡英語版HPで企画展を紹介する。
- 英語版ポスターを掲示する。

**Takumi Gallery**  
A place where visitors can see real Japanese craftsmanship up close.

**2019 October**

**Moriyama Kasuri Koubo & Associates Exhibition**  
Widely renowned hand-dyed indigo kasuri creases from 2nd generation Moriyama Kasuri Koubo owner Tetsuhiko Moriyama. Rich fabric and patterns bring these garments and tableware to life.  
Demonstration: Weaving demonstration of Kurume kasuri woven and dyed fabrics  
Kasuri: Kurume kasuri woven and dyed fabrics weaving workshop  
Fee: free

**Masako Tsunoda: Katsuzome Fabric Exhibition**  
A fascinating display of crafts using dye and weaving techniques from Japan's oldest cities. View and purchase works with nature flower and leaf patterns such as ramen, curtains and tapestries.  
Workshop: Workshop for creating your own patterned paper bookmark  
Fee: free  
Limited to the first 10 people each day  
11:11 am - 12 pm / 2:30 pm - 4 pm

**Exhibition of Koropoko Traditional Wooden Toys**  
Free Koropoko Mokumok presents handmade wooden crafts from their studio. Whether old or young there are dolls, puzzles, games and original works to enjoy browsing or purchasing.  
Workshop: Workshop for creating your own wooden keyholder using an electric pen  
Fee: ¥1,100  
11:11 am - 12 pm / 2:1 pm - 2 pm

**Tsubaki Koubo: Lifestyle Crafts Exhibition**  
Enjoy browsing a range of crafts that suit any lifestyle, with ingeniously pouring sake decanters and teapots brimming with humor.  
Workshop: Workshop for making your own small bowl from clay slab  
Fee: ¥1,000

**56th Exhibition of New Works from the Association of Hakata Doll Makers**  
Rooted in court dancing and music when a new Emperor ascended to the throne, these ornately beautiful works represent new dolls from master doll makers, with themes connected to ceremony and plum blossoms.  
Demonstration: Demonstration of Hakata Doll making

Takumi (Arts & Crafts) Gallery, ACROS Fukuoka Bldg., 2nd Floor.  
1-1-1 Terjiri, Chuoku, Fukuoka  
Opening hours: 10 am - 6 pm  
Closed: New Year holidays (Dec. 29 - Jan. 3)  
Phone: 092-725-9100

Takumi (Arts & Crafts) Gallery is a cultural facility with a permanent display of 7 designated national and 34 designated prefectural traditional craftsworks. It features explanations in English, Korean, and Chinese, as well as videos of the production of the works. The gallery also hosts weekly exhibitions by local Fukuoka craft artists introducing their unique skills.

**ACROS Fukuoka**  
**TOURIST INFORMATION** 1F  
A wealth of tourist information on Kyushu, Okinawa and Yamaguchi

A wide selection of guide maps  
Face-to-face information service  
Free rest area

A large range of tourist pamphlets in English, Korean and Chinese!  
Here, you will also find a rest area with drinks counter, a place where you can relax and take your time collecting the information you need.

**TAKUMI Arts & Crafts GALLERY** 2F  
Demonstrations & Workshops

Takumi Gallery hosts a range of demonstrations and workshops as part of its weekly exhibitions of traditional crafts. Visitors can see artisans plying their trade at close quarters, and can try their own hands at making craftsworks.

**Transport**  
Nishiku-Kanabiki, Terjiri, Terjiri-mitsubashi, Yakuin

**Access**  
Fukuoka Airport, Terjiri Station, Terjiri-mitsubashi Station, Yakuin Station

**ACROS Fukuoka**  
ACROS Fukuoka Foundation  
1-1-1 Terjiri, Chuoku, Fukuoka City  
Hours: 10 am - 6 pm / Closed: Dec. 29 - Jan. 3  
\* 15 minutes from Fukuoka Airport to Terjiri on the Kuko (Airport) Subway Line.  
\* 5 minutes from Hakata Station to Terjiri on the Kuko (Airport) Subway Line.

出典：匠ギャラリー一令和元年度事業実績

## オ その他の広報

- 舞台芸術感動体験事業説明会において、匠ギャラリー社会科見学の誘致を行う。

## 4 上位計画

「匠ギャラリー」の整備活用は、平成29年度(2017)～令和3年度(2021)を計画期間とする「福岡県総合計画」における「文化の振興～県民文化芸術活動の振興」に位置付けられるものである。

「匠ギャラリー」は、県民の誰もが多様な文化・芸術に親しみ、楽しめる心豊かな社会の実現に向け、福岡県が誇る伝統工芸品に親しむ拠点としてのあり方が求められている。

加えて、同計画における「観光資源の開発～体験・交流型観光資源開発の促進」にも位置付けられており、地場産業・伝統工芸品産業の振興を図るとともに、観光資源としての魅力度の向上に貢献する拠点としてのあり方も求められている。

### 福岡県総合計画における位置づけ

豊かな文化・スポーツを楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること

< 県民の文化活動を盛んにする >

#### 1 文化の振興

県民文化芸術活動の振興

世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承

匠ギャラリー

#### 2 大規模国際スポーツ大会等を契機とした文化の振興

文化の活力を活かした地域の  
魅力の創造・発信と国際交流の推進

活力にあふれ成長力に富んだ経済と魅力ある雇用の創出

< 国内外の観光客を呼び込む >

#### 1 観光資源の開発

体験・交流型  
観光資源開発の促進

福岡県の強みを活かした  
観光ブランドの確立

匠ギャラリー

#### 2 外国人観光客等の受入環境整備

誰もが安心・快適に  
旅行できる環境整備

多言語案内の充実・強化

#### 3 プロモーション活動の強化

旅行ニーズをとらえた  
プロモーション活動の充実・強化

#### 4 観光推進体制の整備

観光消費を生む  
マーケティング機能の強化

観光を担う中核人材の育成

# 第 1 章

---

## 各種調査及び課題の抽出

---

## 1 事例調査

### (1) 事例調査の概要

本計画の方針を検討する上で同種施設の調査を行なった。選定の視点としては伝統的工芸品の展示手法やカフェやショップなど異業種と融合されている施設である。

#### ◆ 調査施設一覧

1

京都伝統産業ミュージアム  
(旧称:京都伝統産業ふれあい館)

2

竹中大工道具館

3

うなぎの寝床 旧寺崎邸

4

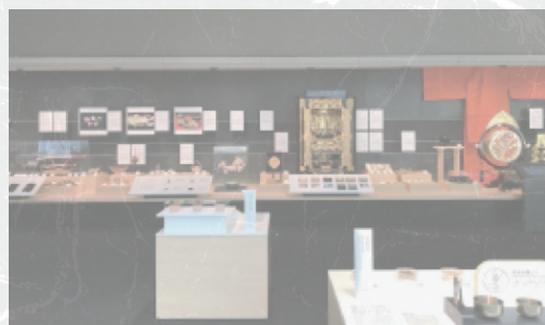
福扇華

## 1 京都伝統産業ミュージアム(旧称:京都伝統産業ふれあい館)

設置主体	京都市:産業観光局 クリエイティブ産業振興室	設立年	令和2年3月14日/平成8年7月2日
運営者	公益財団法人 京都伝統産業交流センター	規模	延床面積 約2,060㎡
所在地	京都市左京区岡崎成勝寺町9-1 京都市勧業館みやこめッセ 地下1階	入館料	無料

### ◆ 概要

京都伝統産業ミュージアムは、旧称京都伝統産業ふれあい館として平成8年に開館し、「千年の歴史」のなかで育まれた京都の伝統産業の技術と歴史の紹介を通じて、伝統産業の振興を促進してきた。令和2年には、京都伝統産業ミュージアムとして現在の形にリニューアルされ、展示の刷新だけでなく、現代のつくり手の活動を紹介する事業を充実させる等、新たな取り組みにも注力している施設である。



### ◆ 特徴

#### 作品の背景を感じられる展示

常設展示スペースでは、京都市の伝統産業74品目を集め、体系的に紹介している。壁面展示では、74品目全ての作品が並び、手元のタッチパネルにて詳細な解説や製造工程を見ることができる。また、島状什器の展示では、実物による制作過程の紹介をはじめ、使用する道具の紹介や体験展示等も導入されており、多面的な視点から作品の背景を感じられる構成となっている。

#### 幅広い伝統産業支援の機能

常設展示機能に加え、伝統産業組合による自主企画展が開催できるギャラリースペースや伝統産業に使用される素材、材料、技術を事業者等に紹介することでBtoB支援を行うライブラリー、本物の伝統産業作品を購入できるショップ等、伝統産業を支援する幅広い機能を有している。

### ◆ 本計画に参考となる点

#### 伝統的工芸品の価値や歴史背景を理解する展示手法

- 壁面を利用した全品目を紹介する資料展示
- 実物とパネルで製造工程や道具を紹介する展示
- 職人による実演展示
- 触って違いを感じる体験展示

#### ICT技術を活用したコンテンツの展開

- ミュージアムショップ、オンラインでの販売
- インターネットを活用したバーチャルギャラリーなど。

## 2 竹中大工道具館

設置主体	竹中工務店	設立年	平成26年10月4日／昭和59年7月1日
運営者	竹中工務店	規模	延床面積 約1,884㎡
所在地	神戸市中央区熊内町7-5-1	入館料	無料

### ◆ 概要

竹中大工道具館は、消えてゆく大工道具を民族遺産として収集・保存し、さらに研究・展示を通じて後世に伝えていくことを目的に昭和59年に設立され、展示及び講演会やセミナー、出前授業等の教育普及活動を実施してきた。平成26年に移転リニューアルが行われ、新たな拠点として建物、展示ともに刷新された。これまでに収集された資料は35,000点以上に上り、日本で唯一の大工道具の博物館として活動を継続している。



### ◆ 特徴

#### つくり手の想いを伝える展示

常設展示内「棟梁に学ぶ」コーナーにおいては、様々な職人を統率しながら建築を作り上げる棟梁について、その仕事内容や想いを模型や実際の図面等を用いて紹介している。

#### ものを生み出す多彩な道具の展示

常設展示内「道具と手仕事」コーナーにおいては、建築を作るために用いられてきた道具を一堂に集積し、ひとつの道具にも多くの種類の形があることを紹介している。また、併せて「世界をめぐる」コーナーでは、材質の違いから道具の違いが生まれることを欧州や中国の道具と比較することで紹介している。

#### 建築そのものから感じられる技術

本施設では、漆喰仕上げの外壁をはじめ、内装仕上げ、瓦等の随所に洗練された建築技術が用いられている。展示だけではなく来館者がいる環境そのものからも技術を感じられるようになっている。

### ◆ 本計画に参考となる点

#### 匠の高度な技術を伝える 展示手法

- 1,000点に及ぶ手道具の展示
- 道具の使い方と工程紹介
- 技術の精巧さを伝える実物大再現展示
- 職人による実演
- 工作など体験型ワークショップ

### 3 うなぎの寝床 旧寺崎邸

設置主体	株式会社 うなぎの寝床	設立年	2015年1月(創業 2012年7月1日)
運営者	株式会社 うなぎの寝床	規模	延床面積 約460㎡
所在地	福岡県八女市本町327	入館料	無料

#### ◆ 概要

うなぎの寝床旧寺崎邸は、平成24年に官民連携事業に関連するアンテナショップとして創業を開始し、平成27年に設立された株式会社うなぎの寝床により設置・運営されている施設である。九州をはじめ国内各所で生産されている様々なプロダクト、食品等の販売を行っている。同社はこの他に自社オリジナル商品を開発・販売する「うなぎの寝床旧丸林本家」、アーティストとの共同開発商品を紹介する「OHAKO旧大坪茶舗」を設置・運営している。



#### ◆ 特徴

##### 古民家を活用した空間

本施設は、八女福島地区の伝統的建造物群保存地区の古民家である旧寺崎邸を活用したものである。伝統的な景観や建物の価値・雰囲気そのまま活かした空間に木調の什器を配し、色とりどりの伝統工芸品がディスプレイされている。

##### つくり手の紹介

商品のディスプレイとともに、生産者(企業・個人)や商品の歴史や由来、文化的背景等を紹介するキャプションが配置されており、単にモノを買うだけではないコミュニケーションを促進している。

##### 多岐に渡る生産者との連携

生産者との新商品の共同開発をはじめ、多種多様なイベント、講演会等、多岐に渡る活動を展開している。またこれら活動をSNSで情報発信するとともに、オンラインショップでの販売も行う等、商品開発から広報・PR、販路確保までを総合的に行っている。

#### ◆ 本計画に参考となる点

地域振興を目的とした  
伝統的工芸品と販売の融合

- アンテナショップとして地方で作られた工芸品の展示販売

ICT技術を活用した  
コンテンツの展開

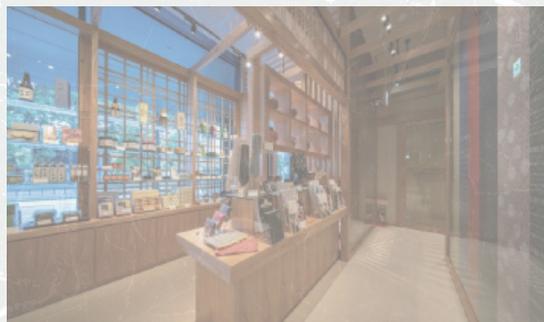
- SNSを中心とした情報発信・拡散
- オンラインショップ

## 4 福扇華

設置主体	福岡県 福岡の食販売促進課	設立年	2018年11月
運営者	トリゼンダイニング株式会社	規模	延床面積 約270㎡
所在地	東京都千代田区麹町1丁目12番1 住友不動産ふくおか半蔵門ビル1F	入館料	無料

### ◆ 概要

福扇華は、福岡県自らが監修し立ち上げた、県の魅力を存分に愉しめるアンテナレストランである。平成30年に東京都千代田区にオープンした。運営は委託により民間企業(トリゼンダイニング株式会社)が行っている。首都圏にて、福岡県の食をはじめとして、物産、観光、歴史、文化等の総合的なPRを行う施設である。



### ◆ 特徴

#### 福岡県産の食材を活かした料理の提供

博多和牛をはじめ、県産の天然真鯛、八女茶、あまおう等の福岡県自慢の食材の数々を用いて、東京に居ながら福岡の「旬」を感じることができる料理を提供している。

#### 伝統工芸品をふんだんに用いた空間

福扇華では、人間国宝福島善三氏の小石原焼の作品をはじめ、貴重な博多人形や八女福島仏壇の蒔絵等がショーケース等に展示されている。また、内装のアクセントとして博多織や小倉織の額装、大川組子があしらわれており、内装材には県産の木材が活用されている。さらに料理を提供する器においては小石原焼や上野焼の焼物が活用されている。料理を楽しむ空間全体に福岡県の伝統工芸品やその素材がふんだんに使用されている。

#### イベントスペースの活用

客席ホールはイベントスペースとしても活用でき、食だけでなく、物産、観光、文化等、福岡県の魅力を発信するイベントを開催している。

### ◆ 本計画に参考となる点

#### 伝統的工芸品と 飲食の融合

- 存在を身近に感じられるように工芸品を潤沢に取り入れた内装空間
- 食器に用いることで、直に触れて工芸品の実用性を体感する機会の創出
- 県産の食材を盛り込んだ郷土を感じるメニュー展開
- 販売スペース
- イベントの開催

## ② 来場者動向調査

### (1) 調査概要

本計画の方針を検討する上で匠ギャラリー来場者数の推移やその属性について、過去の集計データやアンケート結果を基に整理、把握を行う。

- ① 来場者数 平成25年度～令和元年度の実績報告データを使用。
- ② 属性別分析 平成27年度～令和元年度の来場者アンケートの集計データを使用。  
調査件数：上記5年度合計1,152件(年平均約230件)

### (2) 調査結果

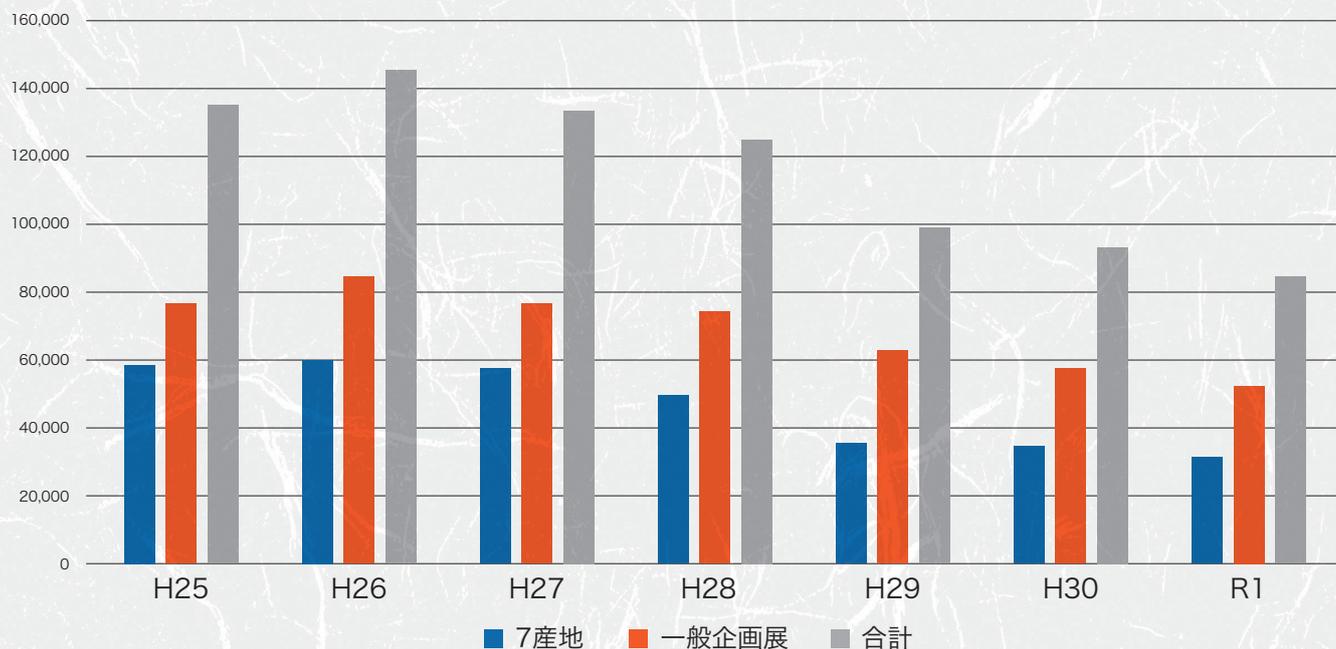
匠ギャラリー来場者アンケート過去データに遡った来場者動向調査の結果は以下の通りである。

#### ① 企画展来場者数の経年変化

##### 集客力が年々減少傾向にある

7産地・一般企画展共に来場者数が減少しており、平成29年度以降、連続で10万人を割込んでいる。平成26年から令和元年の6年間で、14万人から8.6万人と約4割減少している。

匠ギャラリー企画展来場者数の遷移

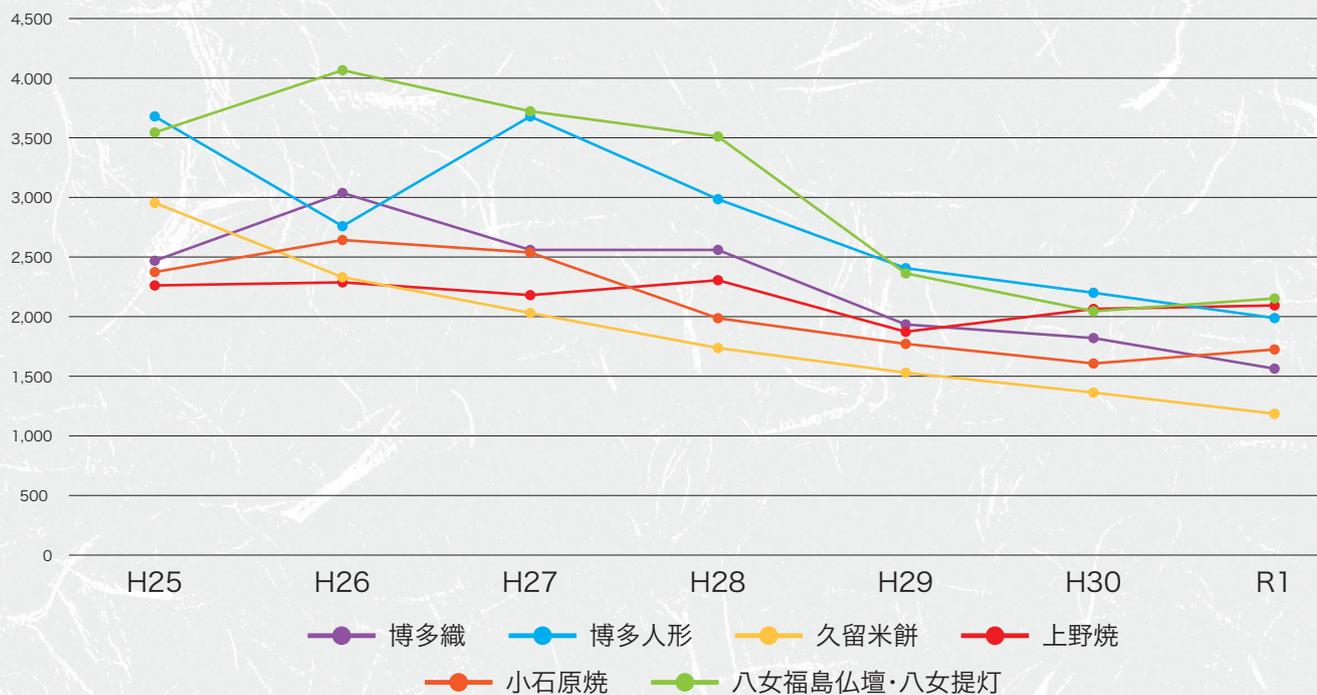


2 伝統工芸品ごとの企画展平均来場者数の経年変化

来場者減少傾向に企画展ごとの大きな差はない

工芸品ごとの平均来場者数も全体的に減少しているが、特に博多人形、八女福島仏壇・八女提灯の減少幅が大きく平成26年度に4,000人あった来場者数が令和元年には約半数まで減少。上野焼は減少してはいるが、おおむね横ばいで推移。

匠ギャラリー伝統工芸品ごとの平均来場者数の遷移

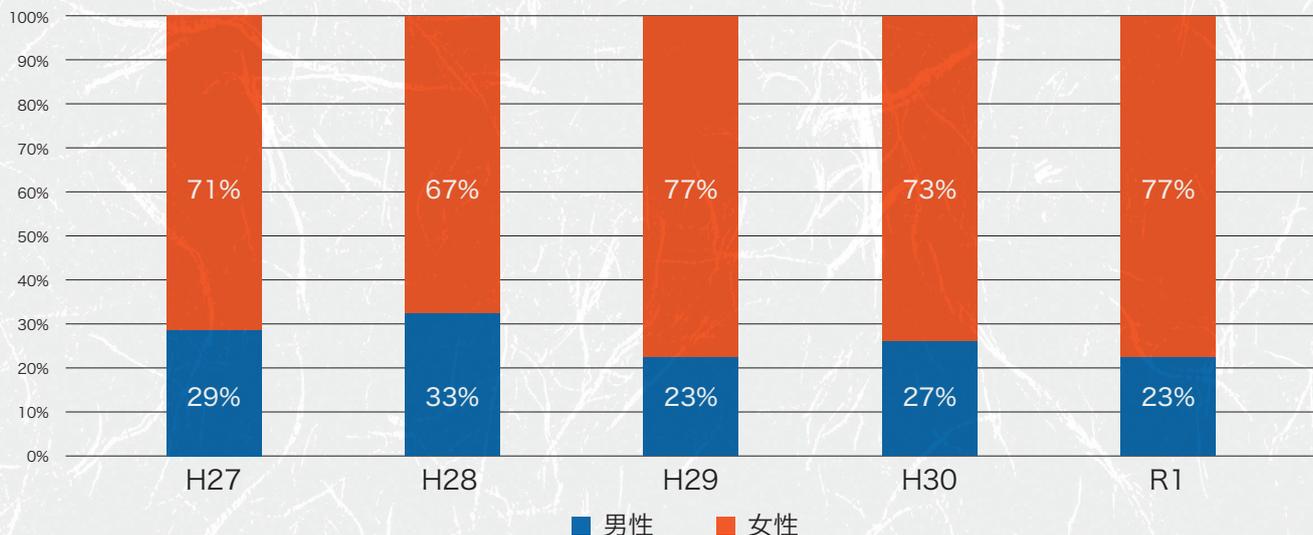


3 来場者の性別の推移

男女比では女性が多い

匠ギャラリーの来場者は女性が約7割、男性が約3割となっており、女性が男性の倍以上を占める。

匠ギャラリー来場者の性別の推移 ※未回答除く

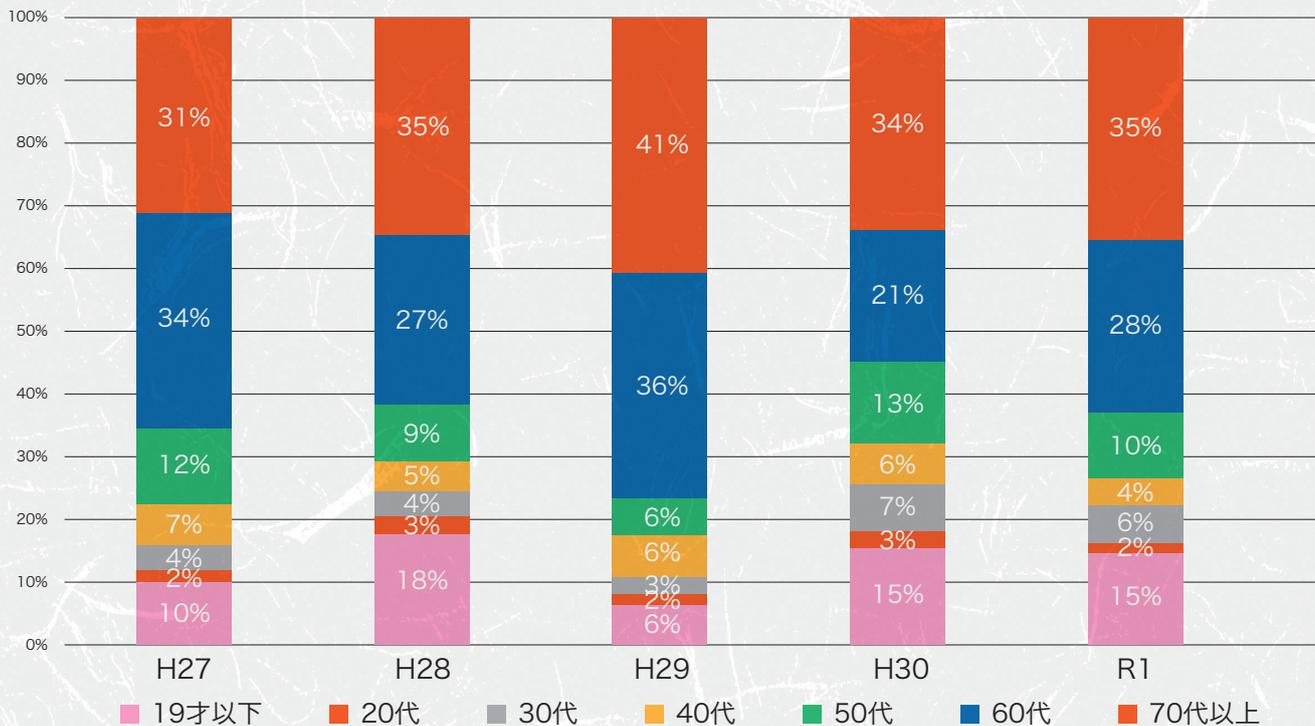


4 来場者の年齢層の推移

高齢者の利用が圧倒的に多い

匠ギャラリーの来場者は70代が35%程度、60代が30%程度と高齢者の割合が高い。次いで19才以下が13%程度、50代が10%前後、40代、30代が5%前後、20代が2.5%程度となっている。

匠ギャラリーの年齢割合の推移 ※未回答除く

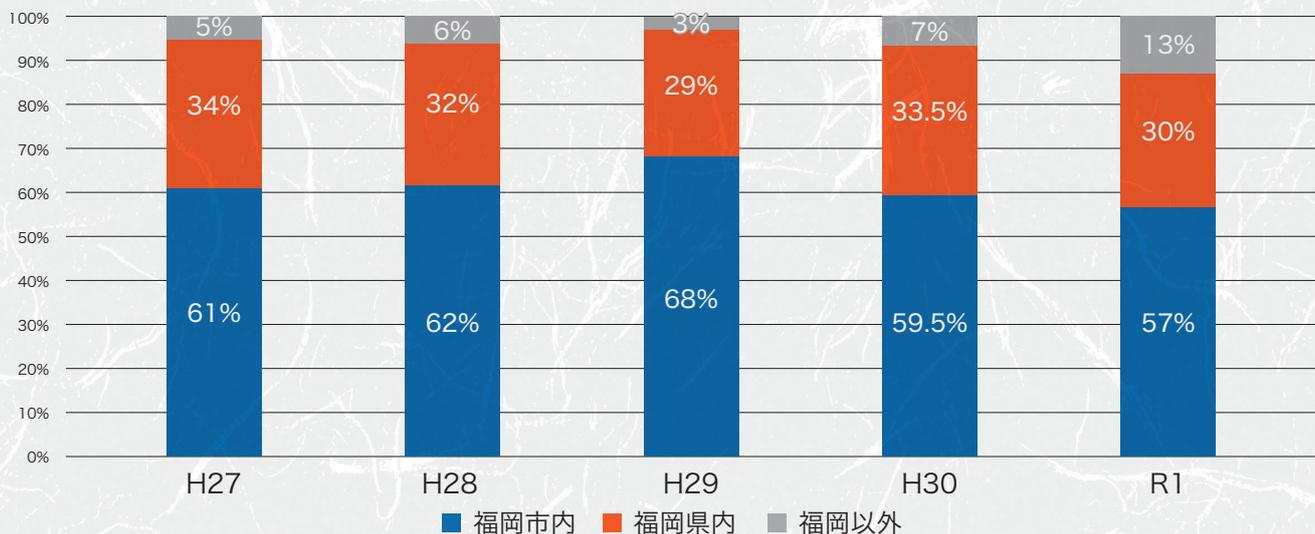


5 来場者の居住地の推移

福岡県在住者が来場者の多くを占める

匠ギャラリーへは福岡県内からの来場者が圧倒的に多い。福岡市内からが約6割を占め、その他県内からが約3割程度である。福岡県外からの来場者は1割程度となっている。

匠ギャラリー来訪者居住場所の推移 ※未回答除く

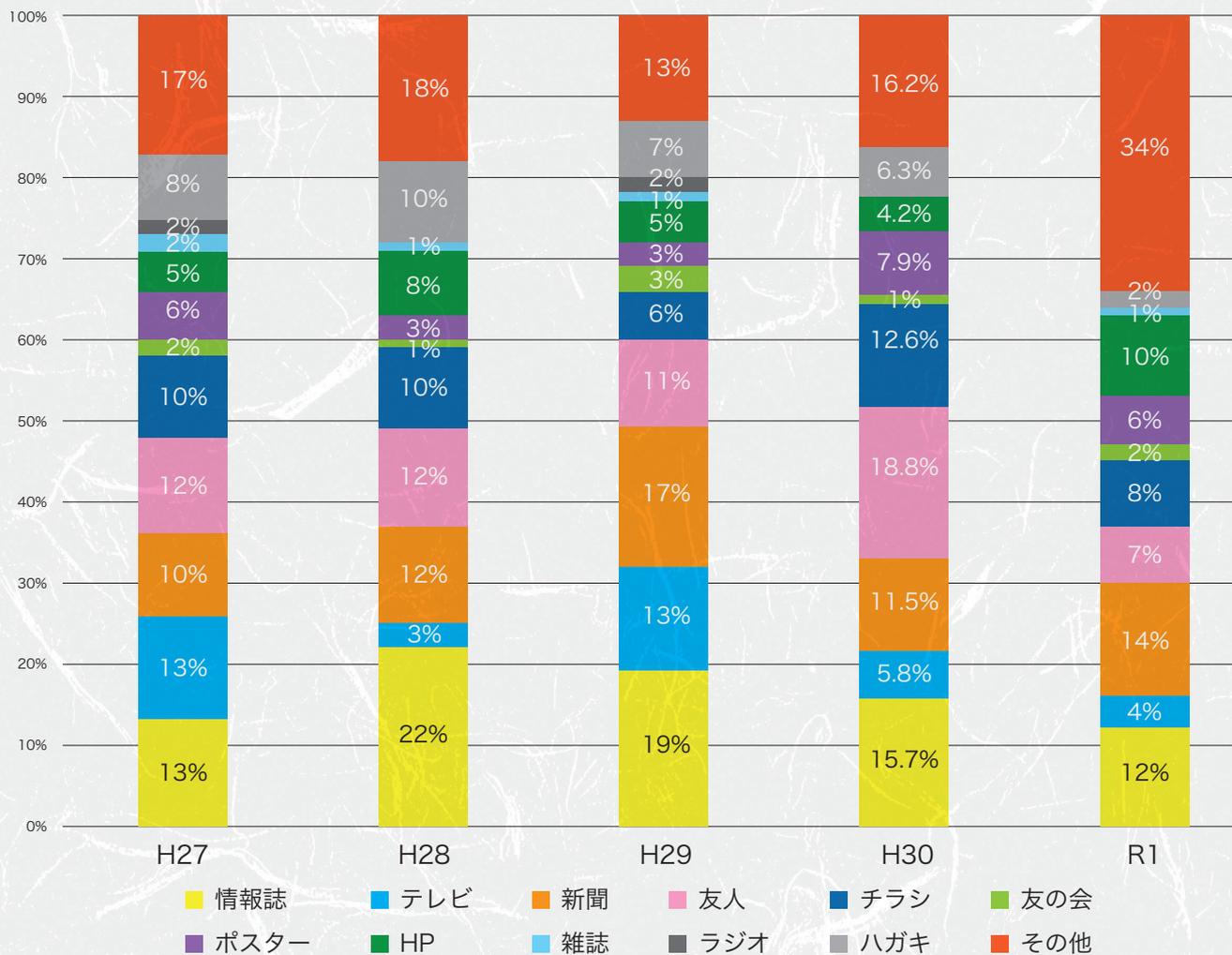


6 来場者の情報源の推移

紙媒体の減少とインターネットやその他を情報源とする来場者が微増傾向

匠ギャラリーの来場者の情報源としては、年度によってまちまちである。令和元年度はその他（facebook、Instagram、Twitter等のSNS）が突出して多い。テレビや新聞などは年度毎に増減にばらつきがある。チラシなどの紙媒体は減少傾向にあり中でもハガキの減少が顕著である。HPからの来場者は微増傾向がある。

匠ギャラリー来場者の情報源の推移 ※未回答除く

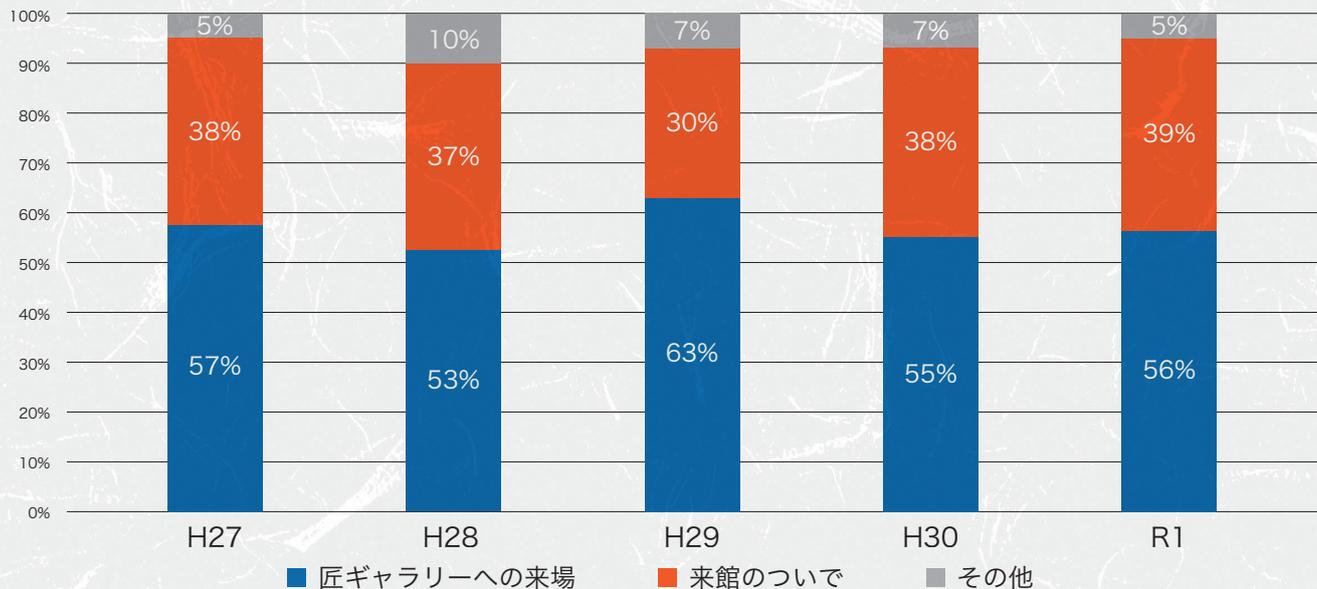


7 来場者の目的の経年変化

匠ギャラリーを目的として来訪している

匠ギャラリーへの来場を目的とした来場者が55%程度、次いで来館のついでが40%弱程度、その他が10%弱程度である。

匠ギャラリー来場の目的の推移 ※未回答除く

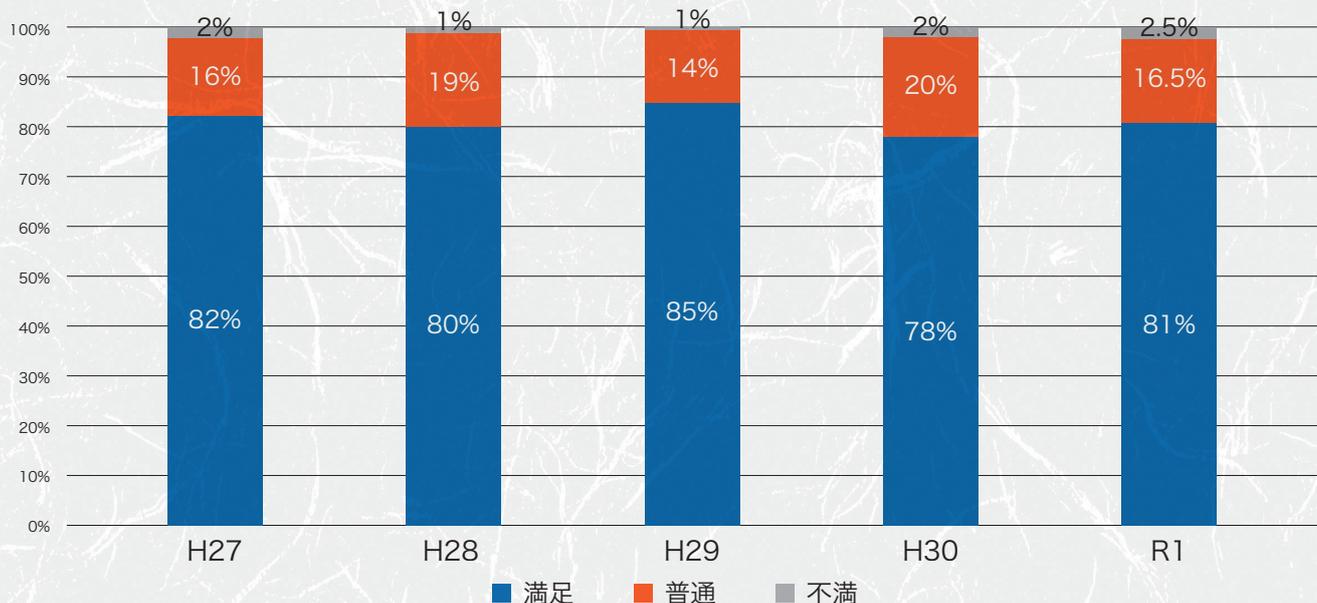


8 来場者の満足度の経年変化

満足度は保持されている

匠ギャラリーへの来場者のうち約80%程度が満足、20%弱程度が普通、3%程度が不満であると答えている。

匠ギャラリー来場者の満足度の推移 ※未回答除く



### 3 リニューアルに向けた強みと課題の整理

与件の整理及び各種調査を踏まえ、「匠ギャラリー」の強みと課題を整理する。

#### (1) 今後に向けた匠ギャラリーの強み

##### 1

#### 積極的な企画展の開催実績

匠ギャラリーでは、常設展に加えて、企画展や工芸品マルシェなどの積極的な開催を通じて、常に新しい情報を発信する場としての活動を蓄積し、愛好家を中心としたファン層の獲得を実現している。これら福岡県における伝統工芸品の情報発信と体験の拠点としての認知度とイメージは、リニューアル後における活動の資源と捉えることができる。

##### 2

#### ギャラリー運営で培った地域ネットワーク資産

匠ギャラリーでは、地域協働による積極的な企画展の開催等を通じて、県内の各伝統工芸品や民芸品作家などとのネットワークを形成している。このネットワークは、匠ギャラリーならではの变化と魅力にあふれた体験交流活動を継続的に展開していく上での原動力となるものである。

##### 3

#### 集客力と情報発信力の高い立地

「アクロス福岡」は、福岡市の中心部である天神にあり、天神中央公園と接するなど、福岡市を訪れる国内外の観光客やビジネス客、県外から訪れる買い物客・レジャー客などの誘客において高い優位性を持った立地となっている。天神地区では、街の魅力を高め、「歩いて出かけたくなるまち」づくり(天神ビッグバン)も進行しており、これらの優位性と将来性は情報発信力の高い施設づくりにあたっての大きな強みとなっている。

## (2) 匠ギャラリーの課題

### 1

#### 来場者の減少と固定化

来場者動向調査から、現「匠ギャラリー」では、来場者数の減少、県内客中心の来場者及び客層の固定化(工芸品に関心のある比較的高齢の女性層)などによる、体験・交流型観光拠点としての情報発信力の低下が課題となっている。

### 2

#### 閉鎖的なイメージと視認性の悪さ

施設面では、「アクロス福岡」のなかで「匠ギャラリー」への動線が分かりづらい、場所がわかりにくい、目につきにくい状況となっており、幅広い来場者の獲得、情報発信を行っていく上での大きな課題となっている。

### 3

#### 陳列と実演中心の展示構成

近年における類似の情報発信施設では、伝統工芸品を陳列するだけでなく、その背景にある物語や伝統工芸品ならではの手触り、工法、作り手の背景、技術の価値などを総合的に発信するとともに、展示・実演機能と販売(飲食含む)機能との連携を図り、着実な販売につなげていくことが重要になっている。

### 4

#### スペース不足と空間・設備面の制約

運営者意向調査では、展示スペースの不足、電気設備、什器、演具、照明など展示環境の制約が多く、必ずしも各伝統的工芸品に適した展示環境が整っていないことが指摘されている。そのため、見やすさなどの展示演出が難しくなったり、展示資料を更新したことが来場者に伝わりづらいなどの課題が発生している。

### 5

#### 設備の老朽化、使い勝手の悪い展示システム

展示物を支える演具や金具の使用が困難になるなど、設備の老朽化への対応が必要となっている。また、湿度管理が必要な高級品への対応ができない、展示ケースの形状が曲面で搬出入がしにくい、大型の資料の搬入搬出が困難などの課題も発生している。

## 第 2 章

---

### 基本方針の検討

---

## ① 匠ギャラリーのあるべき姿

### (1) 目的

匠ギャラリーに期待される役割と強み、現状の課題を踏まえ、リニューアルの目的を次のように設定する。

#### ① 来場者数の増大と来場者層の拡大

匠ギャラリーにおける年間来場者数の回復とさらなる増大を図るとともに、これまでの愛好家層から伝統工芸品に関心の薄い一般層へと来場者層の拡大を促進し、福岡県における伝統工芸品の体験・交流型情報発信拠点としての役割の向上を実現する。

#### ② 伝統工芸品・産地のPR

伝統工芸品の持つ魅力を実演や体験を通じて総合的に発信することにより、福岡県の伝統工芸品が持つ多彩な魅力の理解・共感を促進し、福岡の伝統工芸品ファンの育成を図る。

#### ③ 伝統工芸品の販売促進

伝統工芸品の展示、実演、飲食・物販が連携した、新しい発想による施設づくりにより、来場者に対して魅力ある体験・交流の場を提供するとともに、伝統工芸品の着実な販売へとつなげ、福岡県の伝統工芸品産業の振興に貢献する。

### (2) ターゲット

リニューアルにおいて積極的な取込みを図る来場者層(戦略ターゲット)は次のように整理できる。天神地区及びアクロス福岡、天神中央公園隣接という立地の優位性を活かして、幅広い層の取り込みと伝統工芸品の魅力訴求を図る。

#### ① 集客圏域・来街目的別ターゲットイメージ

- 福岡市来訪観光客(国内・海外)
- 福岡市来訪ビジネス客(国内・海外)
- 天神地区回遊買い物客(県外客含む)
- 天神中央公園来場者

#### ② 関心度別ターゲットイメージ

- 興味関心層  
文化的体験に普段から関心があるものの、伝統工芸品への特別な関心は持たない層
- 一般層(若年層、ファミリー層等)  
文化的な体験に普段から特別な関心を持っているわけではないが、目を引くものや面白いもの、話題になっているものがあれば「行ってみよう」「寄ってみよう」と思う層。

さまざまな人々が立ち寄り、集い、  
福岡県の伝統工芸品の魅力を五感で感じることのできる  
開かれた体験交流空間の実現

## ① 匠ギャラリーのあるべき姿

### (3) 施設展開の方向性

#### ◆ 施設展開コンセプト ◆

## まちに開かれた複合型体験ギャラリースペース (仮称)ふくおか匠テラス

天神のまちや公園を歩きかう人々が、気軽に立ち寄り、伝統工芸品に触れ、その魅力を五感で味わいながら、伝統工芸を支える人々や作家とのふれあいを楽しむことのできる、まちなかの新たな魅力となる体験交流スペースへ。伝統工芸品を見る、体験するだけでなく、伝統工芸品の魅力を五感で感じられるよう発信し、一人ひとりの伝統工芸品のある暮らしづくりをサポートする機能を複合化。「伝統工芸品」のある暮らしへの入り口となる複合型体験ギャラリー。

#### ◆ 施設展開の方針 ◆

### 気軽に入れる、身近に感じる環境づくり

#### 1Fフロアへの移動／飲食機能の導入

ギャラリーを現状の2Fから、天神中央公園や道路などからの誘客がしやすい1Fに移動するとともに、視認性にすぐれたファサード、誰もが入りやすい開かれた雰囲気的环境づくりにより、天神地区回遊客の立寄り利用を促進する。また、伝統工芸品に触れられる飲食機能(カフェ)を新たに追加し、伝統工芸品に触ったり、使ったりすることにより、その魅力を身近に感じていただけるようにするとともに、カフェ目的の利用を促し、来場者層の拡大を図る。

### 継続的で変化に富んだ情報発信としての機能性向上

#### 企画展示機能の導入／常設展示の映像装置導入

独立した企画展示スペースを設定し、各組合や作家との協働による多彩な企画展の開催に対応し、発信力と体験性のある企画展のさらなる充実を図る。常設展示において、映像装置を導入し、伝統工芸品の背景にある物語や人々の思いや情熱、技術とこだわりなどを発信する。また、あわせて老朽化に対応した設備の更新、使い勝手のよい展示システムへの更新を図り、情報発信力のある体験交流スペースとしての機能性を高める。

### 伝統工芸品産業振興拠点としての販売促進機能強化

#### 常設の販売機能の新規導入／企画展示機能と物販機能の連携

各組合からの要望も多い常設の販売機能を新たに導入する。伝統工芸品をその場で購入できるようにすることで、消費者の暮らしにおける伝統工芸品の普及促進と売上拡大を図り、伝統工芸品産業の振興に貢献する。販売機能と企画展示機能が連携して「見て」「体験して」「購入する」の円滑な流れをつくりだす空間配置とする。

## 2 備えるべき機能

### (1) 必要機能の考え方

現匠ギャラリーは、常設展示機能、企画展示機能、体験機能によって構成されており、基本的に展示を中心とした施設となっている。新匠ギャラリーでは、前頁の方針「気軽に入れる、身近に感じる」「柔軟に情報発信できる」「常時購買に繋がる」を実現する為に、飲食機能、物販機能を加え、これまでの閲覧型施設ではなく、休憩・ショッピングを主体とした機能構成を行う。



### (2) 各機能方針

#### 1 常設展示機能

経済産業大臣指定の7品目について恒常的に情報発信を行う機能。伝統工芸品の実物を展示するとともに、その背景にある歴史や特色についても紹介を行うものとする。また、リピーター確保の観点から展示品や関連情報は一定期間で更新できるものとする。

#### 2 企画展示機能

経済産業大臣指定の7品目の産地をはじめ、福岡県において活動を行う工芸作家の方々による企画展示を行う機能。季節や催時に合わせた企画をはじめ、各出展者の自由な企画に対応するものとする。また、企画展は販売も伴うものとする。

#### 3 体験機能

企画展示の実施に併せて、伝統工芸品の職人や各種工芸品の作家の方々から直接ものづくりを学ぶことができる機会を提供する機能。飲食機能と同一の空間で実施することから新匠ギャラリーでの体験は簡易なものとし、より本格的な体験は現匠ギャラリーにて行うものとする。

#### 4 飲食機能

実際の伝統工芸品を食器として使用することはもとより、伝統工芸の技術を取り入れた什器や家具を活用することで、使ってもらうことによって身近に伝統工芸品を感じ、その価値を体験することができる飲食機能。

#### 5 物販機能

各産地の伝統工芸品を使った小物等を中心とした商品を常時販売する物販機能。

### 3 ゾーニングの考え方

#### (1) ゾーニングの基本的な考え方

新匠ギャラリーにおいては飲食スペースを中心に配置し、来場者の目的に応じて各スペースにアクセスできるようゾーニングを行う。

##### 常設展示 スペース

休憩の際に視界に入るように、また、空間全体で伝統工芸品の魅力を感じられるように壁面一帯に配置する。

##### 企画展示 スペース

物販との連携が図れるよう、物販スペースに近接して配置する。

##### 体 験 スペース

飲食との近接が望ましくなく、また企画展示と併せて運用されることから最も奥の部分に配置する。

##### 飲 食 スペース

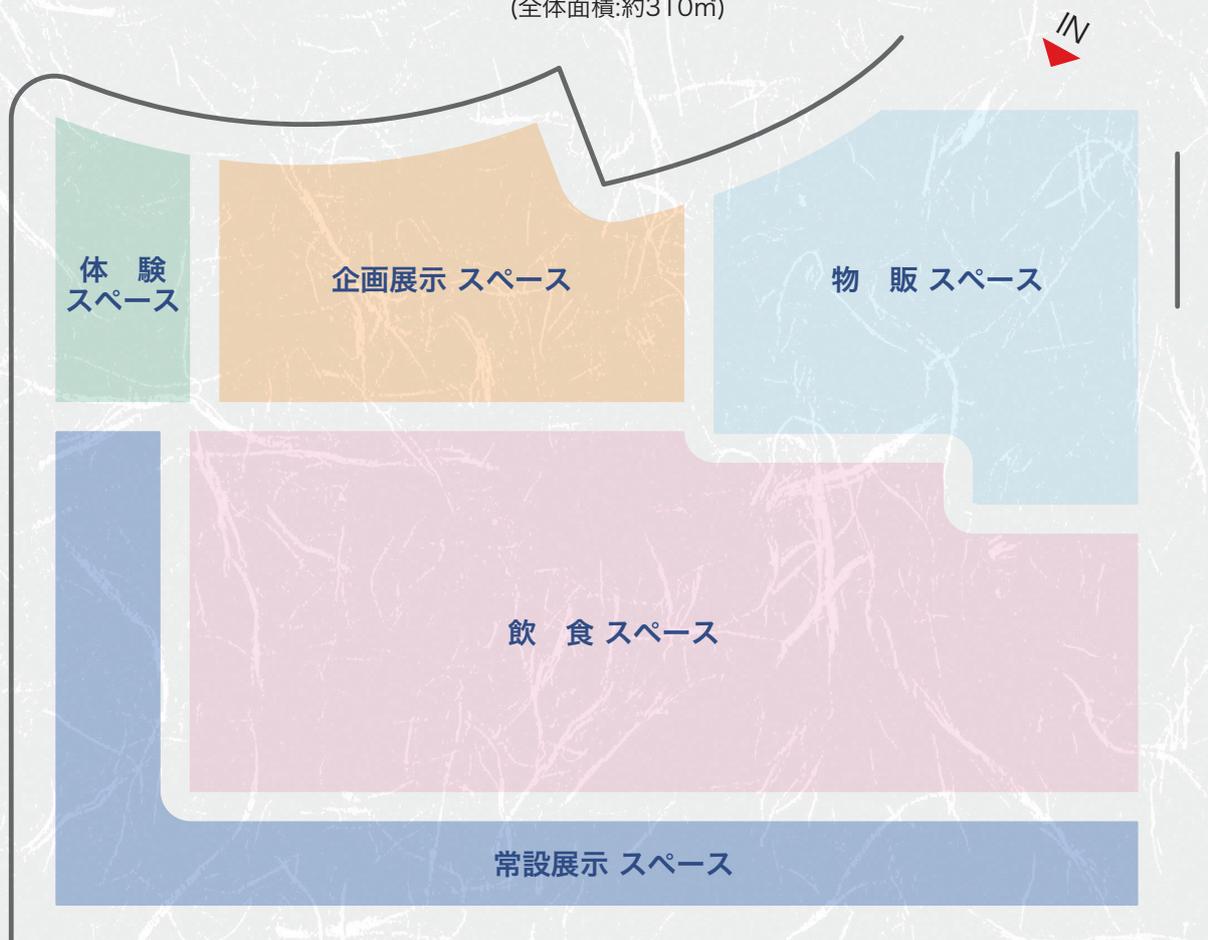
飲食及び休憩できるスペースとして空間の中央に配置する。

##### 物 販 スペース

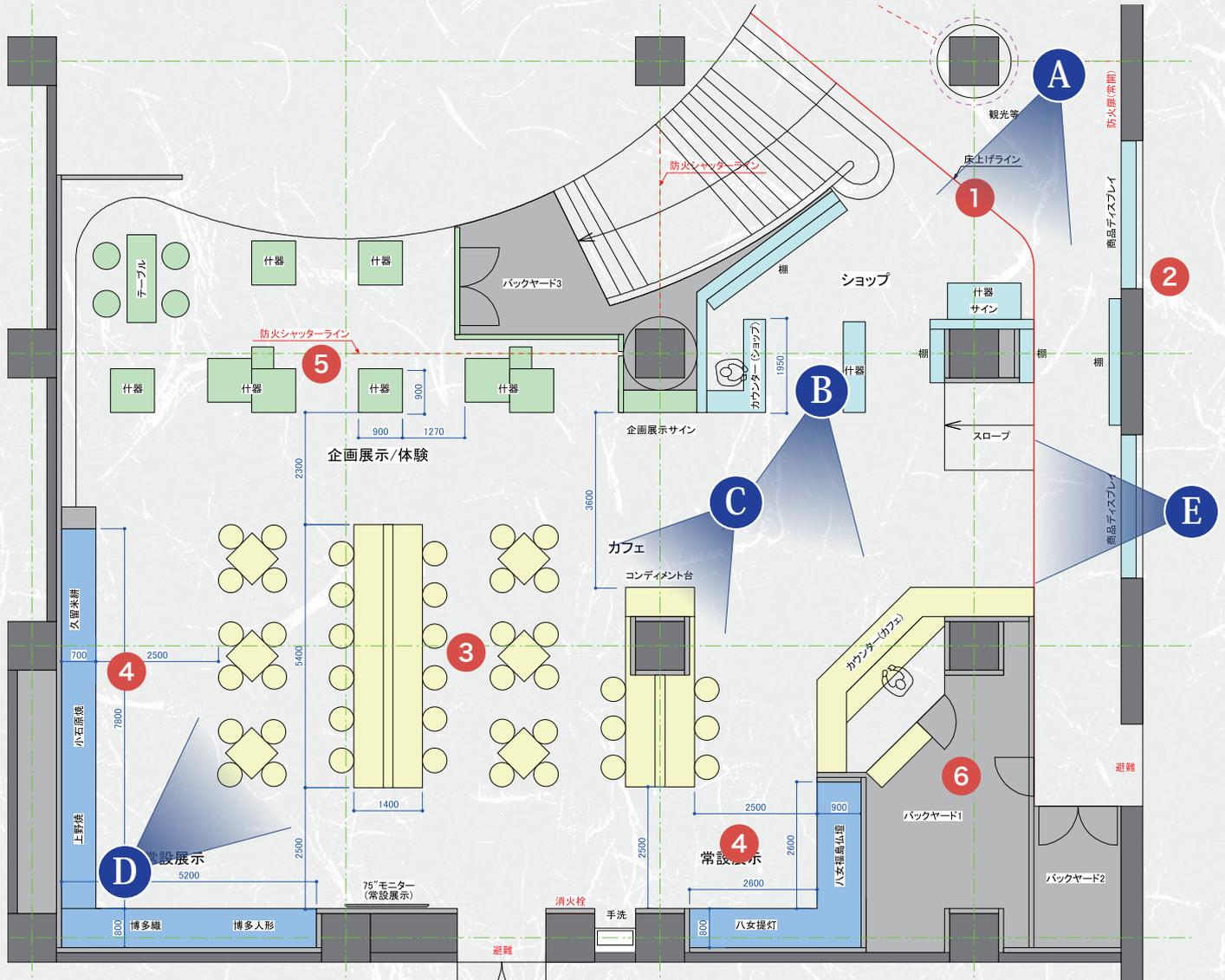
通りすがりの歩行者を呼び込み、購買機会を増やす為に入口付近に配置する。

#### ゾーニング図

(全体面積:約310㎡)



(2) ゾーン配置図



1 床上げラインの拡張

既存の床上げラインを交流スペース方向に拡張し、フラットな床面積を増やすことで、極力広く空間を使うことができる。

2 通行客への興味

窓面を物販スペースの一部として使うと同時に、通行客に向けてのショーウィンドウとしても活用することで、中へ入りたくなるきっかけとする。

3 飲食スペース

様々な人数に対応できるように、テーブル席とカウンター席を用意。ゆとりをもって休憩できるスペースを確保している。

4 大臣指定7品目展示

7品目は大物展示物もしっかり展示できるスペースを確保。壁を背負うことできちんと展示と正対する、壁を使った展示など見せ方の工夫もしやすくなる。

5 企画展示/体験

企画展示・体験スペースは目的をもって足を運ぶ人が多く、ゆっくり鑑賞できるよう奥側に配置。一方で飲食スペースからも視認でき、飲食目的で来館した方にも興味を持っていただきやすい配置とする。

6 バックヤード

ドリンクと軽食程度のサービスであれば十分なバックヤードも確保。

(3) 全体イメージ図

A 通路からギャラリー内部を見る



B カフェ・カウンター



C カフェから常設展示方向を見る



D 常設展示からカフェ方向を見る



E 天神中央公園側入口から匠ギャラリーを見る



## 4 2階フロアの考え方

### 2階フロア(現匠ギャラリー)使い方検討

#### ◆ 基本方針

現匠ギャラリーのスペースは、新匠ギャラリーを補完する機能をはじめ、多目的に使える空間として検討を行う。

- 1 各種伝統工芸品  
製作体験** | 1階ではスペースや扱う材料の都合などで開催しにくい製作イベントを行う。
- 2 触れる工芸品** | 解説だけでは実感できない。まずは触り、体感することで解説がよくわかる。伝統工芸品のすばらしさを実感として与える。
- 3 伝統工芸の  
国内外交流** | 福岡だけでなく日本全国や世界の伝統工芸を集め、国内外を伝統工芸でつなぐ交流イベント。福岡と県外の伝統工芸組合や、海外の伝統工芸組合などとコラボし、豊かな文化を紹介しあうことで、今一度来場者に地元地域への興味を喚起する。
- 4 人材育成** | 各組合で実施している育成プログラムのPRや、実体験。また個人や保存会によって守られている民工芸品の技術継承を行う。
- 5 事業者交流** | 普段個人で活動している作家さんの情報交換や悩み共有、コラボ企画の立案など、県内の作家を県の文化資産として繋ぎ、発展していけるように「面」を作る。
- 6 障がい者への文化・  
芸術普及** | 「国際・文化・情報の交流拠点」として、より多くの方に、文化や芸術に触れていただける場所を提供する。
- 7 トークショー、  
セッション** | 伝統工芸に限らず、アクロス福岡の中にある空間として、クラシック音楽や福岡の街並みの変遷など、幅広いテーマでトークショーやセッションができる。

### 展示パターン

750  
\*750

…750角程度展示台

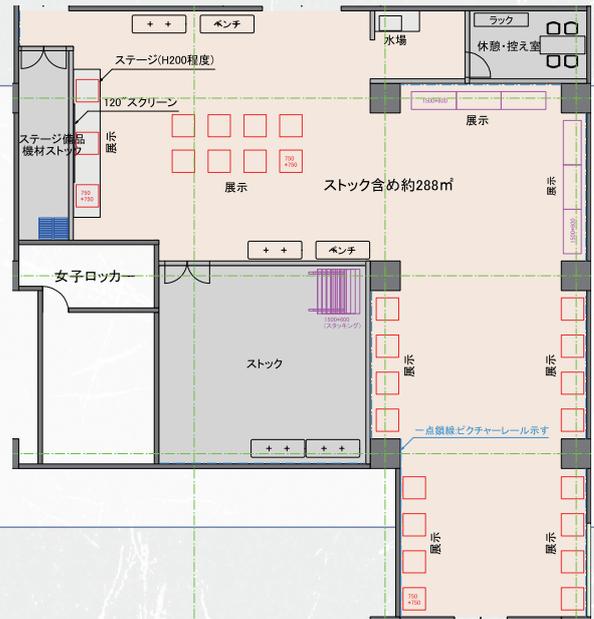
1500\*600



…W1500×D600 スタッキング長机



…スタッキング椅子



### 体験パターン

750  
\*750

…750角程度展示台

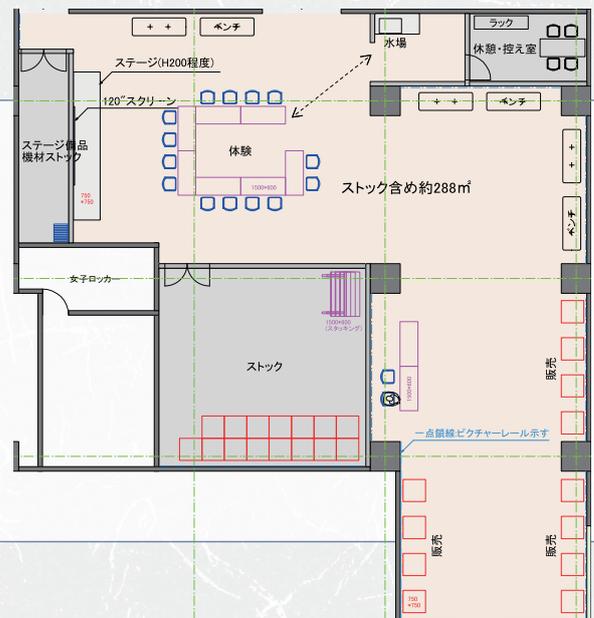
1500\*600



…W1500×D600 スタッキング長机



…スタッキング椅子



### イベント(上映・講演)パターン

750  
\*750

…750角程度展示台

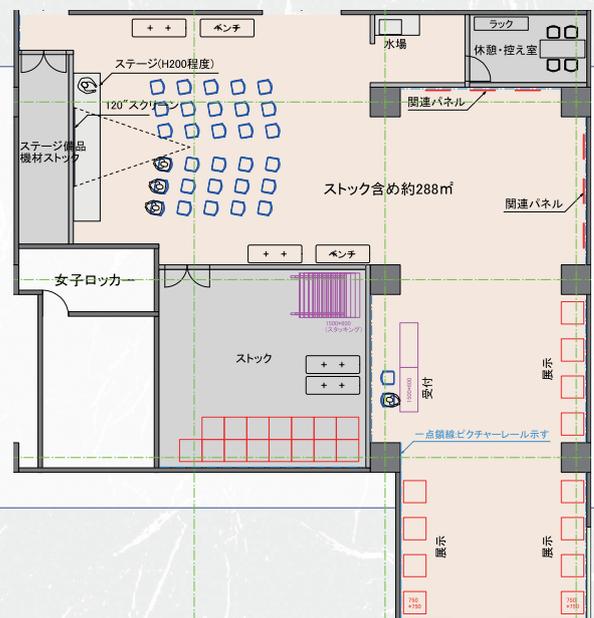
1500\*600



…W1500×D600 スタッキング長机



…スタッキング椅子



## 第 3 章

# 展示及び情報発信の基本方針

## ① 基本的な考え方

### (1) 展示及び情報発信の基本的な考え方

新匠ギャラリーにおいては、休憩(飲食)やショッピング目的で気軽に立ち寄った来場者が自然と伝統工芸品の価値や魅力に気づくことができることを目指し、限られた展示スペースだけでなく、空間全体において伝統工芸品の展示や情報発信を行う。飲食・物販エリアのみ利用し気軽に伝統工芸品に触れてもらう来場者やそこで興味関心を持つことにより常設展示や企画展示を観覧する来場者、もとより企画展示を目的とした来場者等、多様な利用目的に対応した展示及び情報発信を行っていく。

### (2) 各スペースの役割分担

#### ① 飲食・物販スペースにおける展示・情報発信

飲食・物販エリアにおいては、空間に伝統工芸品のエッセンスを散りばめることで、気軽に伝統工芸品に触れてもらう。空間の各所に県指定34品目の伝統工芸品を展示する他、伝統工芸品の模様やパターン、素材、部品(パーツ)等を活かした内容や什器を取り入れる。また、壁面等を使って伝統工芸品に関するトリビアルな情報をグラフィックで紹介する。

#### ② 常設展示スペースにおける展示・情報発信

常設展示スペースにおいては、福岡県の伝統工芸品に関する基本的な情報を常時発信することで伝統工芸品に関する全般的な知識や理解を促す。

大型モニターで福岡県の伝統工芸品に関する概要を発信するとともに、経済産業大臣指定の7品目毎に設けられたコーナーにて実物や特色を示す展示を行う。さらに情報検索システム等を活用してより詳細な情報を発信する。

#### ③ 企画展示スペースにおける展示・情報発信

企画展示スペースにおいては、各産地における新作の紹介や季節や催事に合わせた企画、個人作家の企画等、常に鮮度の高い情報を発信する。

様々な工芸品が展示できるよう自由度の高い什器や設備を導入する。

## ② 飲食・物販エリアの展示及び情報発信

### (1) 工芸品展示

各種什器等の合間に福岡県指定34品目の工芸品展示スペースを設ける。アクロス福岡1階の中央動線から新匠ギャラリー内部が見える窓際や飲食エリアの販売カウンター、飲食エリアの天井等に工芸品を展示する。これらは定期的な入替を行い、より多くの工芸品の露出機会を増やしていく。

### (2) 内装・素材としてのPR

壁紙や立体サイン等に伝統工芸品の模様やパターンをあしらったデザインを導入する。また、イスやテーブル等の什器・家具においては、素材や部材として伝統工芸品や大川家具、県産材を活用する。

#### ◆ 導入例

内装材 博多織のデザインパターン／八女福島仏壇の漆素材  
家具 久留米緋の生地を使ったチェア／八女提灯の照明  
その他 大川家具の導入／県産材の活用

### (3) トリビア展示

壁面やテーブルの一部、コースター等に伝統工芸品に関するトリビアな情報(豆知識)をグラフィックにて展開する。

### 3 常設展示エリアの展示及び情報発信

#### (1) 展示構成の考え方

常設展示は、大型モニタによる映像展示、経済産業大臣指定の7品目毎の個別展示の2種類で構成する。

#### (2) 映像展示

経済産業大臣指定の7品目の伝統工芸品について、工芸品そのものや製作過程、産地の様子を高精細な映像で撮影し、飲食エリアからも視認できる大型モニタで紹介する。

通常時(待機時)は、7品目全てを順に紹介するダイジェスト映像をループ再生させる。また、プログラムの選択機能を有し、来場者は7品目の内、観たい品目を選択することが出来、当該品目に関する詳細なプログラムが展開される。

また、インバウンド対応の為、多言語(日・英・中・韓)選択機能を有するものとする。

#### (3) 個別展示

経済産業大臣指定の7品目の伝統工芸品について、個別にコーナーを設け、実物展示、解説情報展示、トピック展示にて構成する。

##### 1 実物展示

当該品目の代表となる伝統工芸品を展示する。工芸品は定期的に入れ替えることを想定する。また、設備面では工芸品の劣化等に十分配慮したものとする。

##### 2 解説情報展示(タッチパネルモニタ)

コーナー毎にタッチパネルモニタを設置して詳細情報を紹介する。インバウンドにも対応し、多言語(日・英・中・韓)選択機能を有するものとする。

##### 解説情報の 項目例

伝統工芸品の歴史  
伝統工芸品の種類

伝統工芸品の制作工程  
生産者の紹介

##### 3 トピック展示

品目毎に伝統工芸品の特色をトピックとして紹介する。手法は、実物の活用やハンズオン、映像展示等幅広く検討する。次項以降にトピック展示の例を示す。

## 4 トピック展示手法案

対象品目

博多織

## 訴求項目 1 絹鳴り

絹の密度が非常に高いため帯がほどけにくい

## 展示手法 体験

帯を結んで絹鳴りを体験

展示イメージ



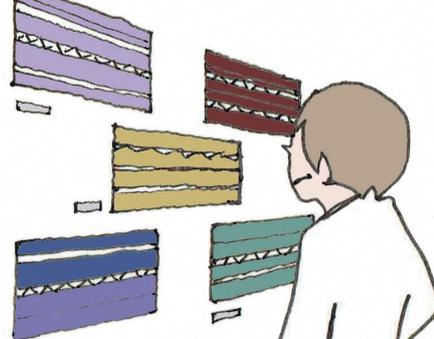
## 訴求項目 2 五色献上

博多織の模様や色は厄除け、子孫繁栄、家内安全の願いが込められている

## 展示手法 実物+グラフィック

模様や色の意味を紹介

展示イメージ



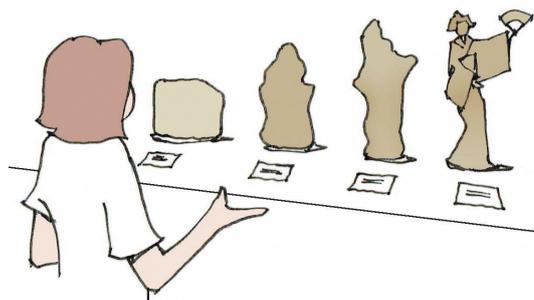
## 訴求項目 1 形成技術

博多人形の原型が粘土で作られることを知る

## 展示手法 実物(プロセス)

粘土の塊が人形原型を形成していく過程を紹介し、職人の技術を実感

展示イメージ



## 訴求項目 2 彩色や面相

博多人形特有の美しい彩色や面相がどのように施されているかを紹介

## 展示手法 映像

表情が生まれる瞬間の映像

展示イメージ



対象品目

博多人形

4 展示手法案

対象品目

久留米絣

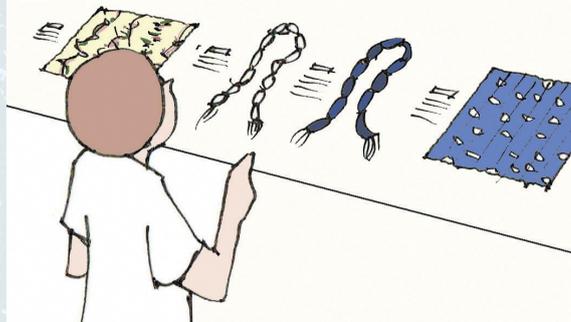
訴求項目 1 絣模様

計算された精密な設計による模様

展示手法 実物(プロセス)

図案通りの模様が作られる過程を紹介

展示イメージ



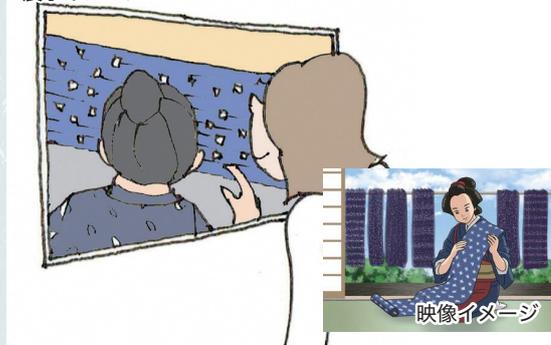
訴求項目 2 井上传の歴史

わずか12歳で考案し絣の普及に生涯をささげた女性

展示手法 映像

井上传ものがたり(アニメ)

展示イメージ



対象品目

小石原焼

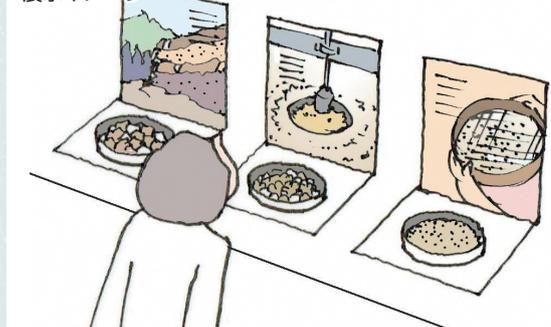
訴求項目 1 陶土作り

皿山の岩土からきめ細かい陶土になるまでの手間ひま

展示手法 実物+グラフィック

岩土が陶土になるまでの工程を紹介

展示イメージ



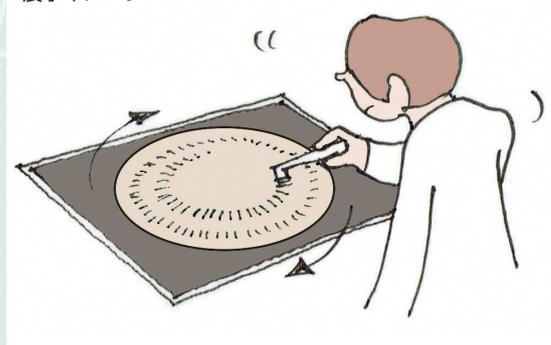
訴求項目 2 装飾技法

代表的な飛び鉋や櫛目、刷毛目など独特な模様と道具

展示手法 映像

映像を使った装飾技法の体験

展示イメージ



4 展示手法案

対象品目

上野焼

訴求項目 1 薄造り

他の陶器類と比較して、極めて軽量である

展示手法 体験

複数の実物から厚みや重量の違いで上野焼を見つける

展示イメージ



訴求項目 2 釉かけ

自然素材の灰類を時間をかけて精製することで生まれる釉薬から生まれる色彩美

展示手法 実物(プロセス)

製作過程と共に自然由来の釉薬による色彩の変化を紹介

展示イメージ



対象品目

八女福島仏壇

訴求項目 1 分業制

彫刻や金具加工、地堀り、塗装、蒔絵など6部門

展示手法 実物(パーツ)

各部門ごとに作っているパーツを紹介

展示イメージ



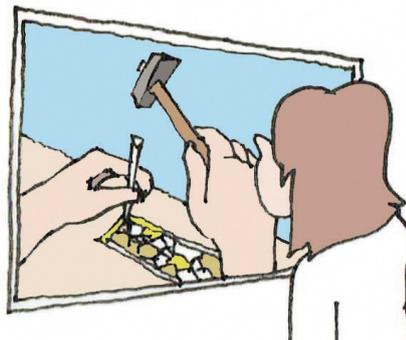
訴求項目 2 緻密な製作工程

仏壇の全行程は約80ある工程のほとんどが手作業である

展示手法 映像

仏壇が完成するまでの80工程をまとめた映像

展示イメージ



## 4 展示手法案

対象品目

八女提灯

## 訴求項目 1 提灯の肩組み

木型につなぎ合わせた竹ひごを巻きつける繊細な工程

## 展示手法 実物(プロセス)

ヒゴ巻き、掛け糸、和紙貼り

展示イメージ



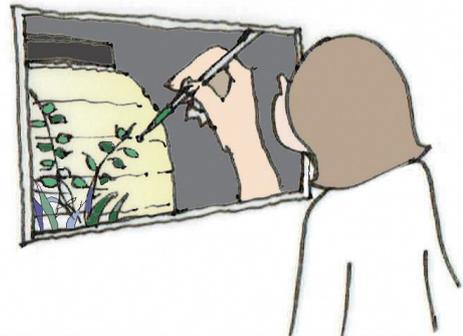
## 訴求項目 2 絵付け

提灯の絵付けは下書きを一切することなく、筆で描く職人技

## 展示手法 映像

職人技の映像

展示イメージ



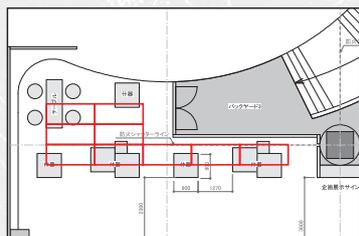
## 5 企画展示エリアの展示及び情報発信

### (1) 展示の考え方

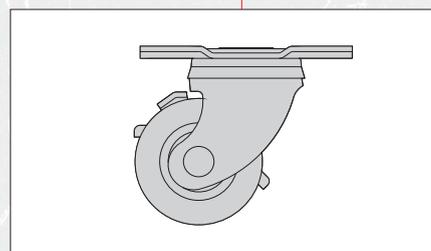
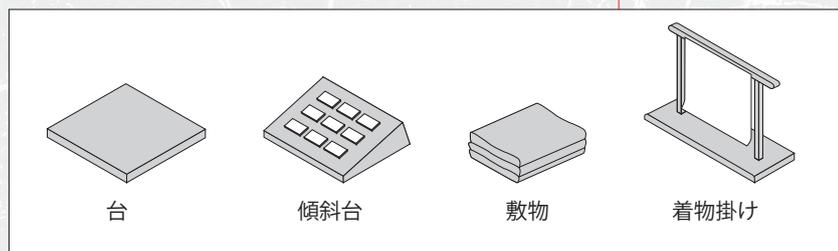
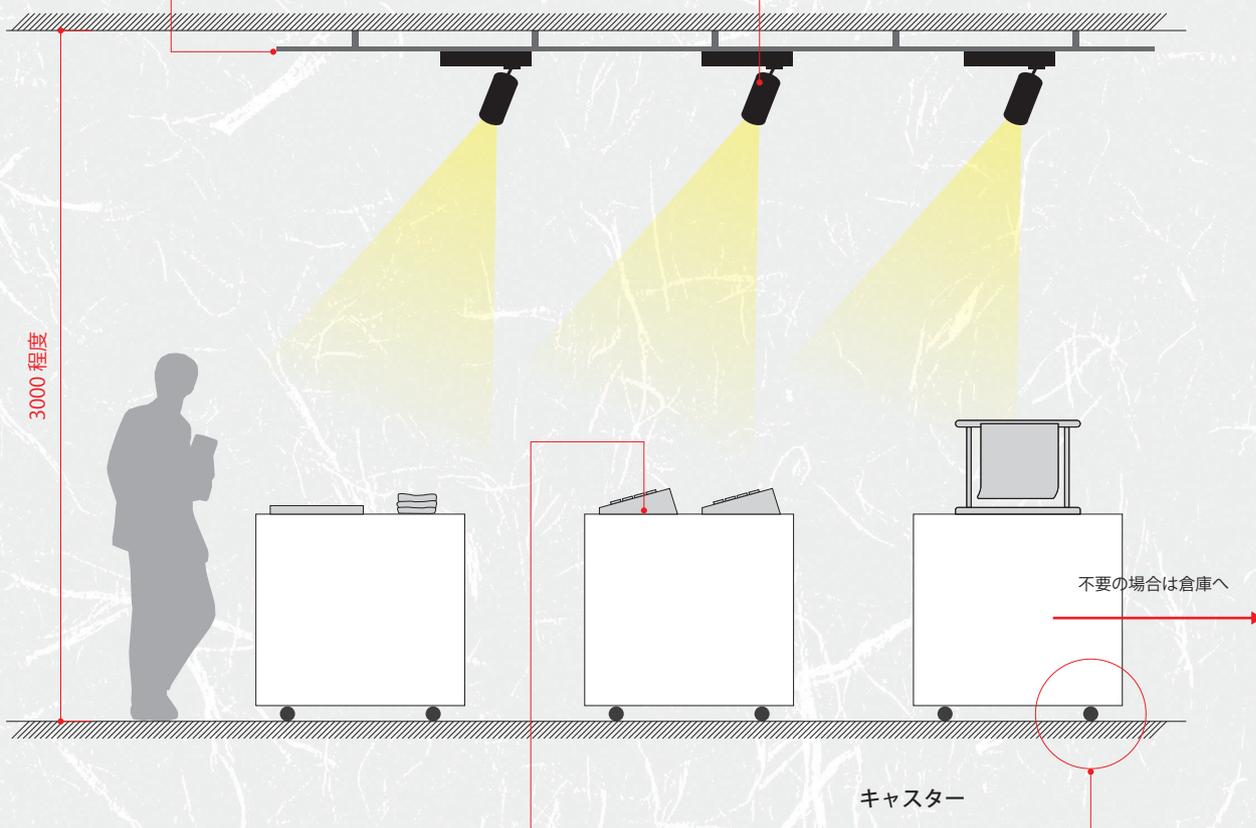
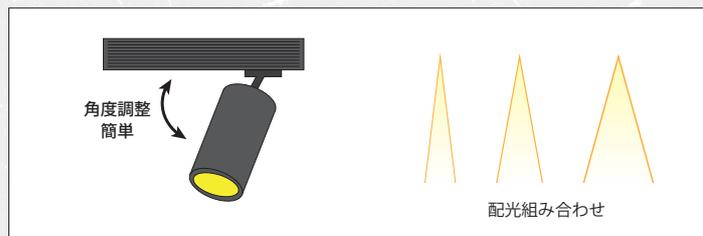
企画展示は、多種多様な伝統工芸品に対応することを前提とした什器、演示具、その他設備を導入する。特に什器は、レイアウト変更や収納が容易に行えるよう移動可能なものとする。

また、解説情報等を掲示するパネルの簡易な脱着システム、企画展の実施をPRするデジタルサイネージ等も導入する。

配線ダクト位置に自由配置可能



取り外し簡単なスポット



## 第 4 章

---

### 運営・活動の基本方針

---

## ① 運営方針

### (1) 運営の基本方針

#### ① 総合的なサービスの提供

これまで行われてきた常設展示や企画展示、体験の運営に加え、飲食及び物販も含めた総合的な運営を実施することで、立寄り客から伝統工芸品の愛好家まで、幅広い層の満足度を満たすサービスを来館者に提供する。

#### ② これまで培ったネットワークの継承・強化

匠ギャラリーではこれまでの活動を通じて、7産地の組合をはじめ、県内の各伝統工芸品や民芸品作家などとのネットワークを形成している。新匠ギャラリーにおいてもこれらのネットワークを継承し、さらには強化を図っていくことで、より多彩な活動を行っていくものとする。

#### ③ 1階への移設に伴うサービスの拡張

新匠ギャラリーは1階に移設することによって、アクロス福岡の1階アトリウムや天神中央公園との距離が近くなる。この配置上の利点を活用し、アトリウムや天神中央公園を活用したイベント等のサービスの展開を検討していく。

### (2) 運営体制の考え方

現匠ギャラリーは指定管理者による運営が行われている。新匠ギャラリーにおいてもこの基本的な体制の在り方は踏襲しつつ、飲食や物販等の運営については再委託の可能性等も含め、複合的に検討していく。

## 2 各種活動方針

### (1) 常設展示

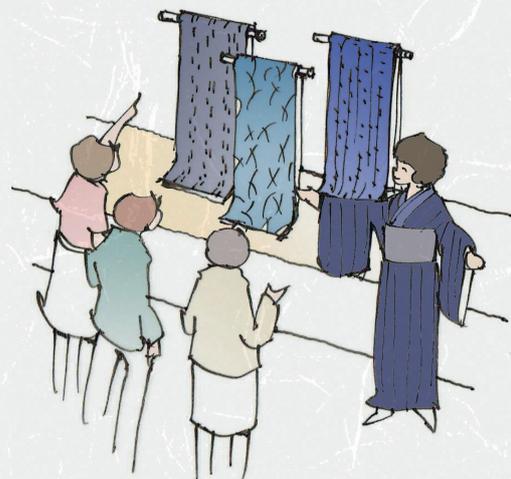
経済産業大臣指定7品目を中心にその価値の理解に繋がる情報発信

#### ◆ 基本事項

- 伝統工芸品に関する解説等の各種情報発信及び適切な情報更新。
- 産地組合と連携した伝統工芸品の定期的な入替え。
- 常設展示物、設備の維持・管理。

#### ◆ その他の展開案

- 常設展示解説ツアーの実施。
- 伝統工芸館や町屋ふるさと館との連携イベントの実施。



常設展示解説ツアーイメージ

### (2) 企画展示／体験

特定テーマや季節、催時等に合わせた工芸品の企画展示及び体験プログラムの実施

#### ◆ 基本事項

- 企画展の企画・実施。
- 企画展に合わせた体験プログラムの企画・実施。
- 企画展示設備の維持・管理。

#### ◆ その他の展開案

- 現匠ギャラリースペースを併せて活用する大型企画展の開催。
- 常時体験可能なプログラムの開発。



企画展示イメージ



体験プログラムイメージ

## ② 各種活動方針

### (3) 飲食

#### 伝統工芸品に親しむことができる飲食サービスの提供

##### ◆ 基本事項

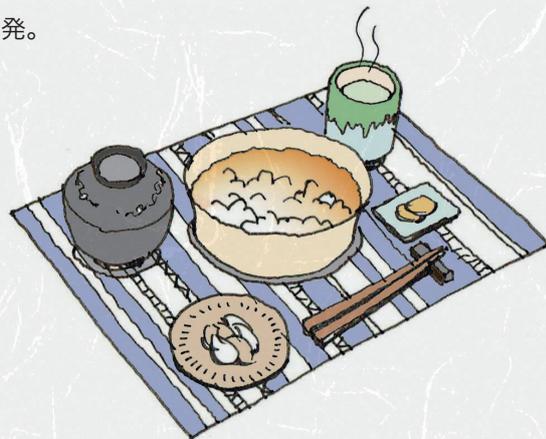
- 喫茶、軽食の飲食サービスを提供。
- フードコートスタイルとし、飲食をしない利用者も休憩できるものとする。
- 各種設備の維持・管理。

##### ◆ その他の展開案

- 県農林水産部と連携し、特産品等を活用したメニューの開発。



飲食イメージ



伝統工芸品に親しむ飲食体験の提供イメージ

### (4) 物販

#### 伝統工芸品関連商品の販売

##### ◆ 基本事項

- 伝統工芸品を使った各種商品の販売（販売形式については今後検討）。
- 企画展における工芸品販売のサポート（レジの一元化等）。
- 在庫管理、各種設備の維持・管理。

##### ◆ その他の展開案

- 産地組合と連携したオリジナル商品の開発。
- 人気生活雑貨店（例：うなぎの寝床等）の特別出展コーナーの設置。



物販イメージ



オリジナル商品イメージ

## 2 各種活動方針

### (5) イベント

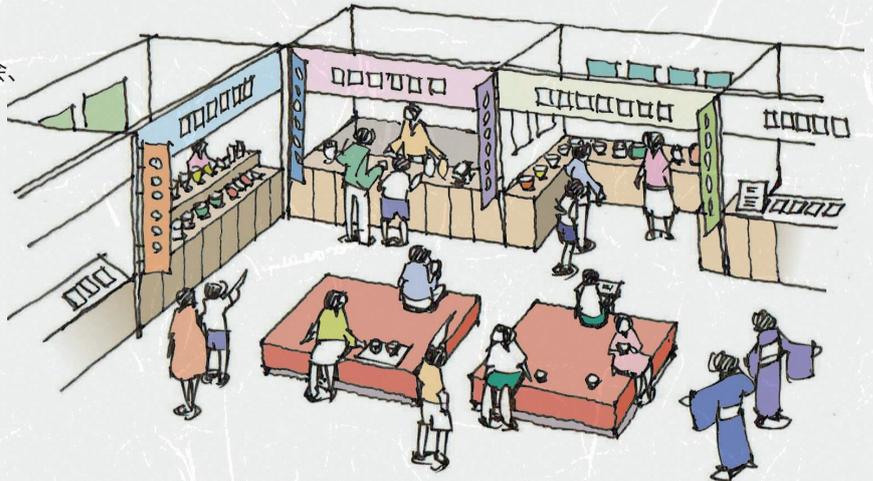
#### 伝統工芸品PRや後継者育成に繋がる各種イベントの実施

##### ◆ 基本事項

- 伝統工芸品のPR、販売促進に繋がる各種イベントの企画・実施。
- 後継者育成に繋がる各種イベントの企画・実施。

##### ◆ その他の展開案

- アトリウムを活用した大型販売イベントの実施。
- 天神中央公園を活用したマルシェの実施。
- 現匠ギャラリースペースを活用した講演会、セミナーの実施。



販売・体験イベントイメージ

### (6) 広報等

#### 各活動を支援する広報

##### ◆ 基本事項

- 匠ギャラリーの広報全般
  - ・パンフレットの制作、設置。
  - ・ホームページの開設、運用。
- 企画展、イベント等に関する各種広報。
  - ・ポスターの制作、設置。
  - ・チラシの制作、設置。
  - ・SNSによる発信。

## 第 5 章

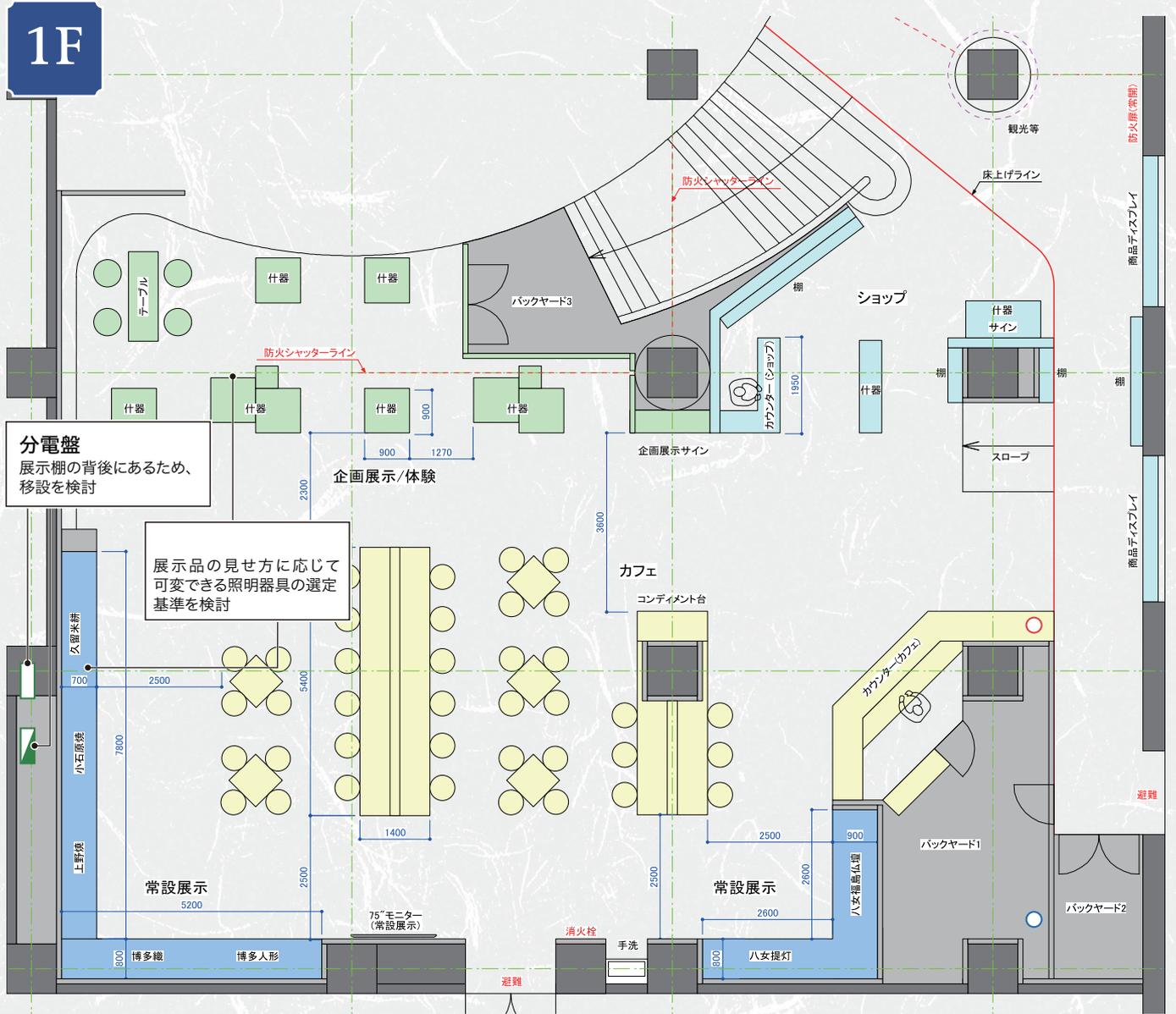
---

# 設備改修計画

---

# 1 基本的な考え方

新たな匠ギャラリーを整備する上での設備改修の基本的な考え方は以下の通りである。



**排煙設備** 居室面積が増えるため排煙口の大きさ及び位置、ダクトサイズ、設置ルートの検討が必要

**空調設備** 原則既存設備を流用想定。居室面積などの関係で、必要あれば設備追加や位置変更、吸気・排気ルート、24時間換気システムの必要有無などを検討

**消火設備** 用途や区画が既存と変更されることにより、スプリンクラー増設などが必要ないか検討

**防災設備** 非常灯、火災報知器、誘導灯、非常放送設備などの法規整理を再確認 ※カフェ展示空間として不足ないよう

**コンセント・LAN** カフェ機能の充実を図るためコンセントの増設や無線LANが必要か検討

**給排水設備** カフェの給排水を更新の場合  
 既存給排水ルートが使用できるレイアウトとなるかを検討  
 ○ 既存給水位置  
 ○ 既存排水位置

2階フロアを整備する上での設備改修の基本的な考え方は以下の通りである。



**排煙設備** 居室面積が増えるため排煙口の大きさ及び位置、ダクトサイズ、設置ルート  
の検討が必要

**空調設備** 原則既存設備を流用想定。居室面積などの関係で、必要あれば設備追加や  
位置変更、吸気・排気ルート、24時間換気システムの必要有無などを検討

**消火設備** 用途や区画が既存と変更されることにより、スプリンクラー増設などが必要  
がないか検討

**防災設備** 非常灯、火災報知器、誘導灯、非常放送設備などの法規整理を再確認  
※カフェ展示空間として不足ないように

**展示照明** 展示、体験、講演など、様々な用途に応じて可変できる照明器具の選定  
基準を検討

**コンセント・LAN** コンセントの増設や無線LANが必要か検討

## 第 6 章

---

# 整備推進計画

---

## ① 整備工程案

新匠ギャラリーの設計及び整備の工程案は下記を予定する。

### ◆ 工程案

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>R3年度</b>			基本設計(3ヶ月)				実施設計(4ヶ月)				制作(9ヶ月)	
<b>R4年度</b>			制作(9ヶ月)									
				現場施工(3ヶ月)								

別 紙

---

対象工芸品・民芸品 資料

---

## ◆ 経済産業大臣指定伝統的工芸品とは

この指定は、経済産業大臣によって定められた要件(主として日常生活で使用、主要工程が手作り、百年以上前から続く技術や技法など)を持つ工芸品に与えられる。全国に約230品目にのぼる。

福岡県内では7品目がこの指定を受け、伝統にふさわしい完成度の維持に努めている。

### 01 博多織

福岡市他

800年の歴史を持つ福岡県屈指の  
伝統工芸品



1241年に中国・宋から博多に持ち帰った技術がルーツとされる。丈夫で張りのある織物は帯として重宝され、江戸時代には幕府への献上品に選定。

### 02 博多人形

福岡市他

博多、そして日本の心を伝える  
究極の美



1601年、筑前福岡藩藩主に集められた職人による素焼き人形がルーツ。日本の「美」を代表する存在として国内外から高い評価を受けている。

### 03 上野焼

福智町

400年受け継がれた茶人の『粋』



1602年、豊前小倉藩初代藩主が李朝の陶工を招き誕生。藩主の御用窯として珍重された国焼茶陶で、江戸時代には遠州七窯の一つに選ばれる。

### 04 小石原焼

東峰村

質実剛健、素朴を極めた  
『用の美』



1682年、福岡藩黒田家三代藩主が肥前伊万里の陶工を招き中野焼きの磁器を伝える。磁器文化と小石原に伝わる高取焼とが交流して誕生。

### 05 久留米絣

久留米市、筑後市、広川町他

筑後川の豊かさが生んだ、  
絣文化の代表格



1800年頃考案された織物。木綿糸を麻で括り藍染めして斑模様をつくり、模様の異なる糸を縦横に織り合わせ柄を表現。日本三大絣の一つとされる。

### 06 八女提灯

八女市他

筑後の恵みが生んだ、幽玄の美



1800年代前半、八女福島町で生まれた素朴な「場提灯」が起源。その後、一条螺旋の製法や薄い手漉き和紙が導入されその基礎が築かれる。

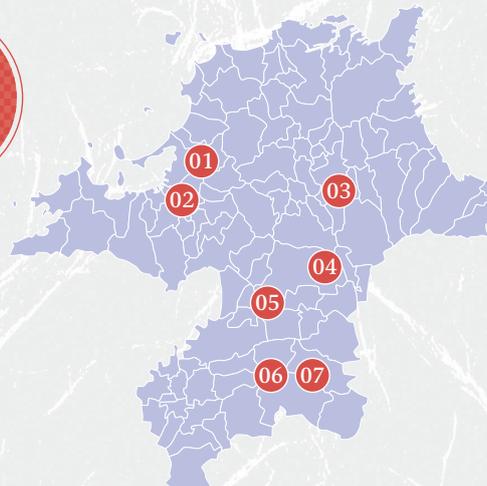
### 07 八女福島仏壇

八女市他

篤い信仰心が生んだ、  
荘厳かつ華麗な仏壇の世界



江戸時代後期、1人の大工が夢見た壮麗な仏壇を仲間と共に再現したものがルーツとされる。1850年頃、複数の職人が分業する製造技術が確立。



## 福岡県知事指定特産民芸品

この指定は、福岡県で製造される郷土色が豊かで、しかも一定の伝統性を有する(技術・技法が50年以上の歴史があり今日まで継続など)工芸品・民芸品に与えられる。

現在、34品目が指定され、福岡県内のみならず、日本中の人々に愛されている。

### 福岡地域

#### 01 博多曲物／福岡市



日本人が重用してきた生活道具

#### 02 博多鋏／福岡市



刀鍛冶に始まる伝統と技の集大成

#### 03 津屋崎人形／福津市



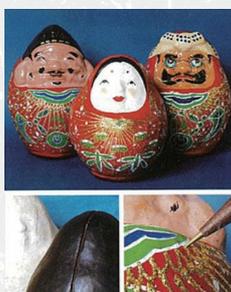
「素朴さ」と「重厚さ」で愛される人形

#### 04 木うそ／太宰府市



天神様の使い鳥

#### 05 博多張子／福岡市他



昔ながらの縁起物

#### 06 福岡積層工芸ガラス／福津市他



透き通り重なりあう美しさ

#### 07 博多独楽／福岡市他



曲芸を生んだ精巧なつくり

#### 08 博多おきあげ／福岡市



重なる布のぬくもりと美しさ

#### 09 今宿人形／福岡市



暮らしに密着した民族人形

## 北九州地域

## 01 孫次風／北九州市



地域の伝承を  
遊び心とともに

## 02 八朔の馬／芦屋町



次世代の健勝を願う、  
素朴な贈り物

## 筑豊地域

## 01 英彦山がらがら／添田町



生活を守り続ける  
日本最古の土鈴

## 筑後地域 01

## 01 藍胎漆器／久留米市



丈夫で美しい日用品

## 02 きじ車／みやま市



九州を代表する木製の玩具

03 八女手漉和紙  
／八女市他

耐久性に富んだ強靱な和紙

04 八女石灯ろう  
／八女市

凝灰岩ならではのおもむき

## 05 掛川／大木町他



い草の爽やかな香りと  
過ごしやすい足触り

## 06 赤坂人形／筑後市



素朴であたたかい土人形

## 07 鍋島織通／久留米市他



日本の気候に  
ふさわしい敷物

## 08 柳川神棚／柳川市他



繁栄を願う庶民の心

## 筑後地域 02

## 09 八女竹細工／八女市他



長く愛される実用品

## 10 筑後和傘／久留米市他



繊細な巧の技が生み出す  
美しさと実用性

## 11 八女和ごま／八女市



大きくてた「ヘソ」が特徴

12 杷木五月節句幟  
／朝倉市

筑後の節句を飾る、  
勇壮な織

## 13 八女矢／八女市ほか



矢飛びの良さと美しさ

## 14 城島鬼瓦／久留米市



日本家屋の屋根を飾る、  
厳しい形相

15 久留米おきあげ  
／久留米市

押し絵雑で  
知られる布の文化

16 大川総桐タンス  
／大川市他

桐の特性が活かした職人技

## 17 大川彫刻／大川市



彫りの力強さと美しさ

## 18 大川組子／大川市



緻密な細工が描く木の紋様

## 19 柳川まり／柳川市



女の子の初節句を  
飾る愛情のかたち

## 20 棕櫚箒／うきは市



日常に根ざした「生活用品」

## 21 八女すだれ／八女市、広川町



万葉集にも詠まれた風情ある調度品

## 22 天然樟脳／みやま市



森がくれたやさしい香り

